ONKYO®

DVD ビデオ／オーディオプレーヤー

DV-S939

取扱説明書







お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

特長

■ THX※1ウルトラ規格に準拠

■ DVDオーディオ／ビデオ、ビデオCD、音楽用CD／CD-R対応

■ 54MHz（メガヘルツ）/10bit（ビット） ビデオD/A（ディーエー）（デジタル→アナログ）コンバーター搭載

■ 192kHz（キロヘルツ）/24bit（ビット） D/A（ディーエー）（デジタル→アナログ）コンバーター搭載

■ DB-25、RCA（アールシーエー） 6チャンネル出力端子装備

■ コンポーネント(色差)映像出力／S画像出力／コンポジット出力端子装備

■ ドルビーデジタル※2/DTS（ディーティーエス）※3/PCM（ピーシーエム）デジタル出力端子(光：2/同軸：2)装備

■ ドルビーデジタルデコーダー内蔵

■ デジタルトランス／アナログトランス搭載

■ 防磁型メカニズム

■ 自動開閉ディスクトレイ

■ フル機能搭載の学習機能付きリモコン

※1 ルーカスフィルムからの実施権に基づき製造されています。ルーカスフィルム及びTHXは、ルーカスフィルムの商標です。
※2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、Dolby、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
※3 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
“DTS”、“DTS Digital Surround”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

THXウルトラ

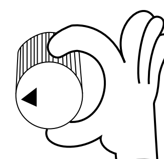
品質と動作に対する厳しい検査をクリアしてきたホームシアター機器に対してのみ、THXウルトラの承認が与えられます。THXロゴの付いたホームシアター機器は将来的にも優れた機能が保証されています。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。

隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互い心を配り、快い生活環境を守りましょう。



目次

オーディオ機器の正しい使いかた

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

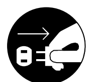

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

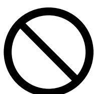
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

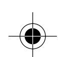

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

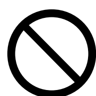
■ 100V以外の電圧で使用しない



- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。


■ 放熱を妨げない



● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
- ・ 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- ・ 本機を専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- ・ テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。

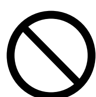


● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

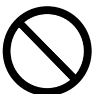

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ禁止

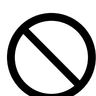
● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



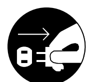
● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



● 本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

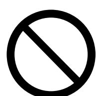


電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

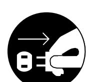


● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

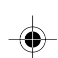


● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。



オーディオ機器の正しい使いかた



警告

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない



- 雷が鳴りだしたら、製品本体や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

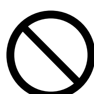


- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災・けがの原因となります。



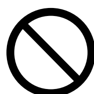
注意

■ 設置上の注意



- 強度の足りない台や、ぐらついたり傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意



- 電源を入れる前には、アンプ等の音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

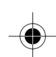


指をはさまれないように注意

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

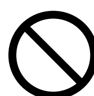




■ 接続について



- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意



- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コ－ドを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



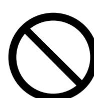
電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

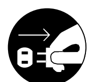


- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

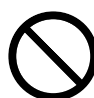


電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をおすすめします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除・点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。



- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。



- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。



ディスクについての予備知識

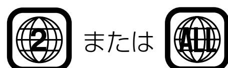
本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDは、ディスク制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号（再生可能地域番号）について

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号はそのディスクを再生できる地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
リージョン番号が指定されたディスクにはそれを表わすマークがプリントされています。本機では以下のマークのついたディスクを再生することができます。



これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、再生できない旨の表示が画面にでます。

コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。ディスクによっては、コピー禁止信号がはいっているものがあり、そのようなディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、アメリカ合衆国の特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

再生できるディスク

本機は下記のディスクを再生することができます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像（動画）	12 cm
			8 cm
DVDオーディオ	DVD AUDIO	音声	12 cm
			8 cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声＋映像（動画）	12 cm
			8 cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12 cm
			8 cm（CDシングル）

CD-DA方式で録音されたCD-R、CD-RWは本機で再生できます。（ディスクによっては再生できないディスクもあります。）

以下のディスクは再生できません。
上記の表以外のロゴマークが付いたディスク、CD-ROM、DVD-RAM、DVD-RW

本機はNTSC（エヌティーエスシー）カラー方式に適したDVDプレーヤーです。他のカラー方式（PAL（パル）、SECAM（セカム））表示のディスクには使用できません。

ビデオCDについて

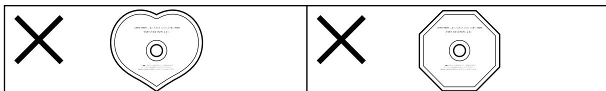
本機はPBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）に対応しています。（PBC（ピービーシー）は、Playback（プレーバック） Control（コントロール）の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクについてのご注意

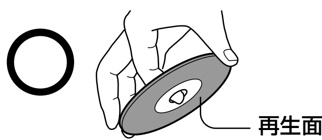
■ 異形ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

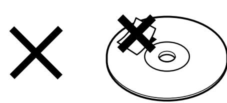


■ 取り扱いについて

再生面に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またキズなどをつけないようにしてください。

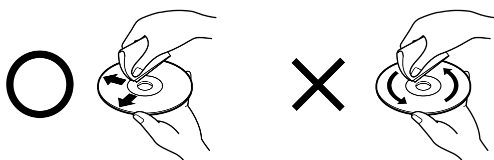


■ レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやディスクのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけますと、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■ お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じることがあります。汚れている場合は、再生前に再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



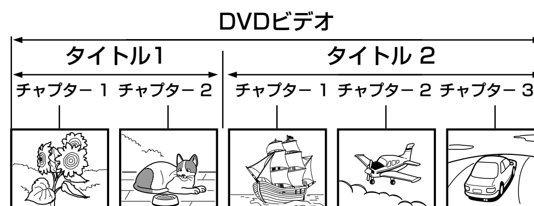
汚れがひどい場合には、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

■ 保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけて保管してください。
必ず専用ケースに入れて保管してください。

ディスクに関する用語について

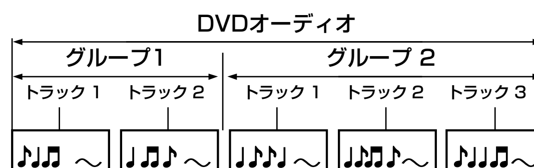
● DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。



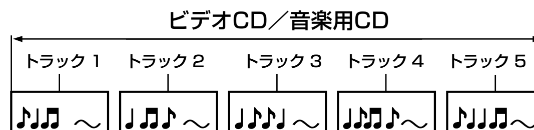
タイトル DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

● DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。



● ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。



トラック ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

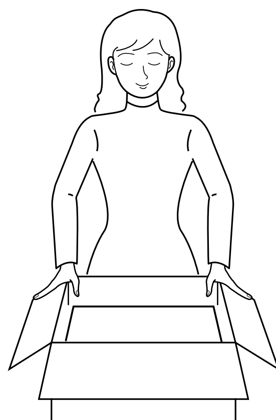
それぞれのタイトルやグループ、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「グループ番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
（ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。）

結露について

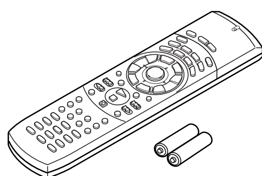
本機を冷えた所から、暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりでなくディスクや部品を傷めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをお勧めします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
［　］内の数字は数量を表わしています。

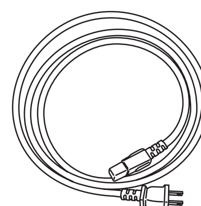


●リモコン(RC-438DV)［1］

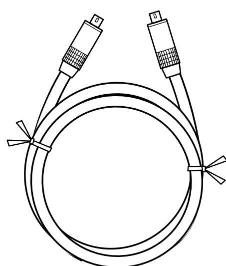


● 単3乾電池［2］

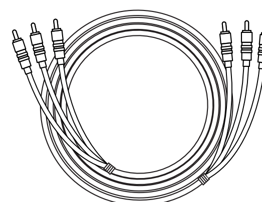
● 電源コード［1］



● Sビデオコード［1］



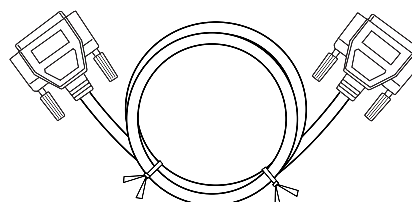
● オーディオ・ビデオ用ピンコード［1］

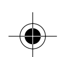


● 取扱説明書 （本書）［1］

● 保証書［1］

● マルチチャンネルアンプ用ケーブル
（DB-25）［1］

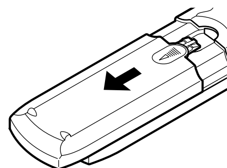


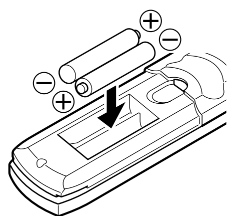

リモコンを準備する

乾電池を入れる

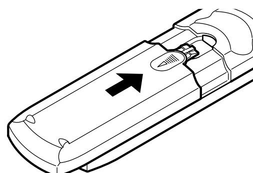
❶ カバーを矢印の方向に押してはずす。



❷ 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。



❸ カバーを戻す。

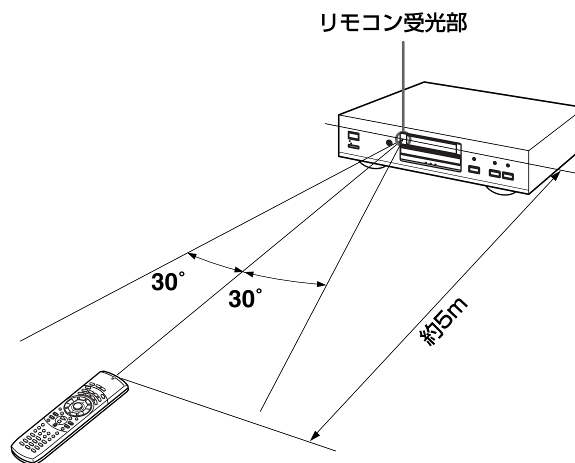


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池は、単3型（AA／UM-3）をご使用ください。

リモコンを使う

リモコンをDVDプレーヤーの受光部に向けて使用してください。



ご注意

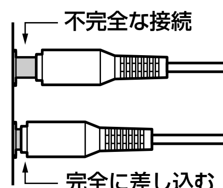
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

接続する

本機を使ってホームシアターを楽しんでいただけるよう、いろいろな接続のしかたがあります。お手持ちのシステムに合わせて適切な接続を行ってください。

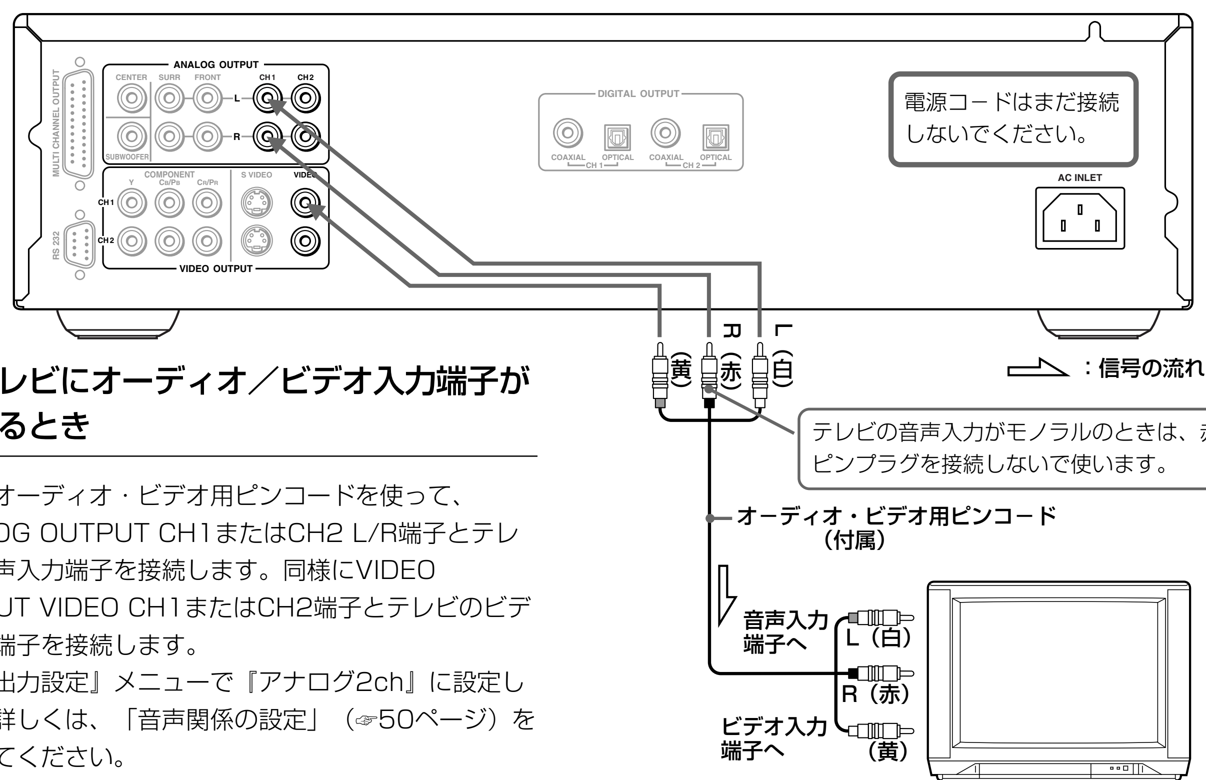
接続する前に

- 本機と接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- 本機をビデオデッキなどを経由してテレビと接続した場合、コピープロテクトされたディスクを再生すると画像が歪みます。
- 再生する前にメニュー画面で対話方式の操作が必要なディスクもあるため、必ずテレビやモニターと接続してください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。



テレビとの接続

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って、ステレオスピーカー内蔵テレビと接続します。接続完了後、すぐに本機で再生が可能になります。



■ テレビにオーディオ／ビデオ入力端子があるとき

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って、ANALOG OUTPUT CH1またはCH2 L/R端子とテレビの音声入力端子を接続します。同様にVIDEO OUTPUT VIDEO CH1またはCH2端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。
『音声出力設定』メニューで『アナログ2ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

お知らせ

プラグの色と同じ色の端子を接続してください。（黄：ビデオ用、赤：右（R）音声用、白：左（L）音声用）

ビデオ機器との接続

コンポーネント映像入力端子やSビデオ端子が付いたテレビやモニターと接続する場合は、下記の接続を行ってください。より高画質で再生が楽しめます。

お知らせ

コンポーネント映像入力端子やSビデオ端子を使って接続するときは、コンポジットビデオ接続は必要ないため、オーディオ・ビデオ用ピンコードのビデオ用プラグ（黄）は接続しないでください。

■ テレビやモニターにコンポーネントビデオ入力端子があるとき

コンポーネントビデオ端子を使って接続をすると、さらに高画質で映像を楽しむことができます。市販のコンポーネントビデオ用ピンコードを使って、VIDEO OUTPUT COMPONENT CH1またはCH2端子とテレビのコンポーネントビデオ入力端子を接続します。

コンポーネントビデオ入力端子の名称は、テレビやモニターにより異なります（例：Y/CB/CR、Y/R-Y/B-Y、色差信号、コンポーネント映像等）。

また、テレビによっては、コンポーネントビデオ入力にD端子がついています。本機のコンポーネントビデオ端子はD1／D2映像信号に対応しています。

D1端子：　480i（インターレース）信号に対応

D2端子：　480i（インターレース）、480p（プログレッシブ）信号に対応

テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニター側で調節してください。

『音声出力設定』メニューで『アナログ2ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

プログレッシブ入／出力

テレビやモニターによっては、プログレッシブスキャン方式の映像信号を再生できるコンポーネントビデオ入力端子が装備されているものもあります。この場合、画面のちらつきの少ない映像を楽しむことができます。

インターレース入／出力

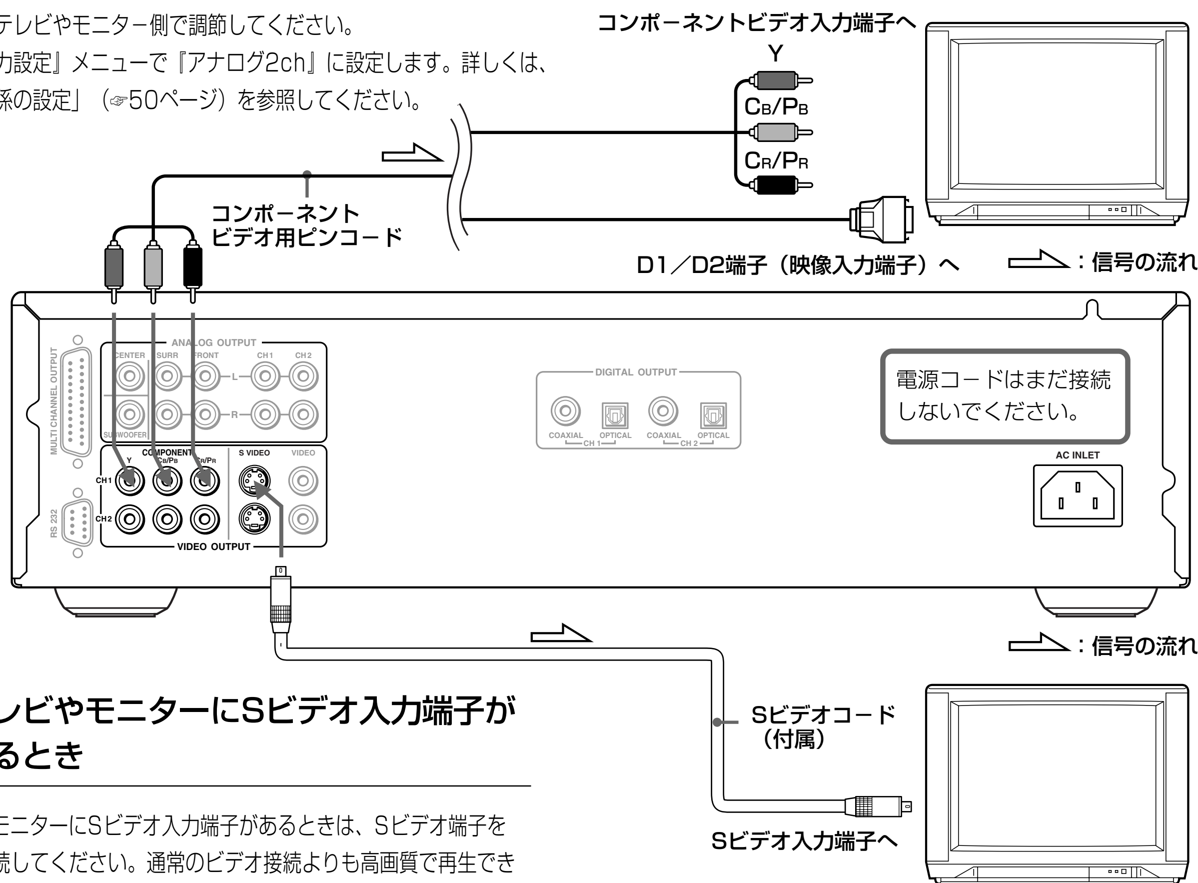
テレビやモニターによってはコンポーネントビデオ入力端子が装備されているものもあります。この場合、高画質の映像を再生することができます。

テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニター側で調節してください。

出力信号の切り換え（プログレッシブ／インターレース）

リモコンのPROGRESSIVE（プログレッシブ）を押します。

出力信号がコンポーネントプログレッシブとインターレースとで交互に切り換わります。接続したテレビやモニターのスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう、信号の種類を選んでください。詳しくは「プログレッシブスキャン方式を選ぶ」（☞44ページ）を参照してください。



■ テレビやモニターにSビデオ入力端子があるとき

テレビやモニターにSビデオ入力端子があるときは、Sビデオ端子を使って接続してください。通常のビデオ接続よりも高画質で再生できます。付属のSビデオコードを使ってVIDEO OUTPUT S VIDEO CH1またはCH2端子とテレビのSビデオ入力端子を接続します。

『音声出力設定』メニューで『アナログ2ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

オーディオ機器との接続

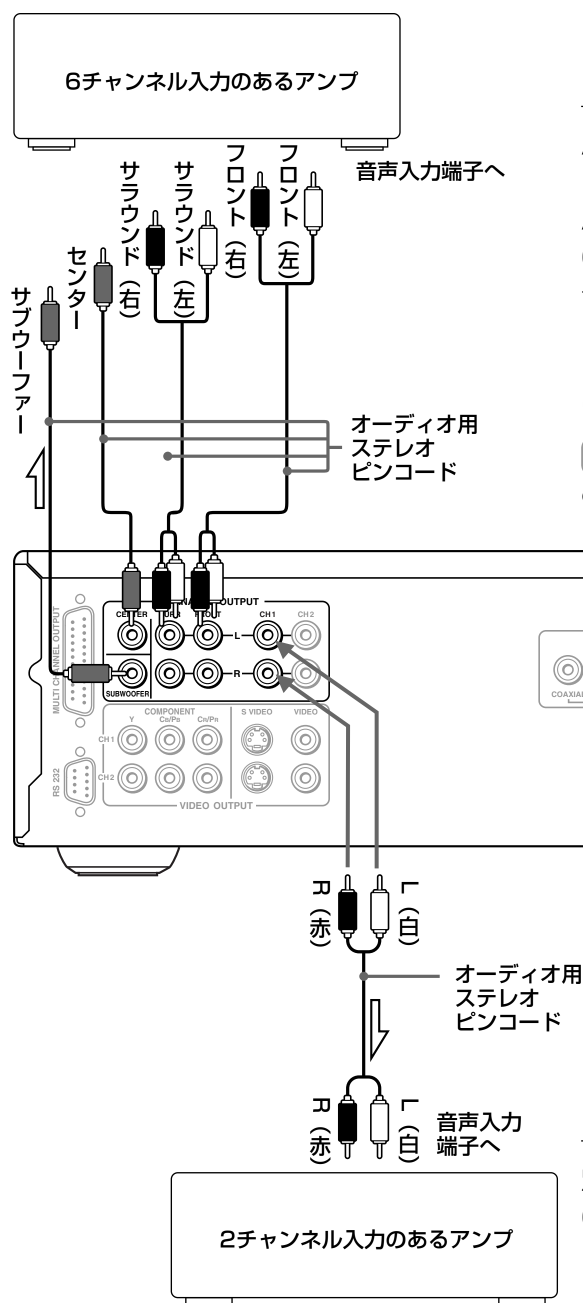
DVDにマルチチャンネルで記録されたデジタルサウンドを楽しむことができます。

アナログ接続

2チャンネル出力端子の他に、マルチチャンネル用のアナログ出力端子とAVアンプのマルチチャンネルアナログ入力端子を接続するとDVDオーディオをマルチチャンネルで再生できます。

お知らせ

DVDオーディオを聞くときは、本機の6チャンネルANALOG OUTPUT端子でAVアンプ等と接続することをお勧めします。ビットストリーム／PCMのDIGITAL OUT端子での接続では、DVDオーディオの本来の性能を生かした音声は再生されません。



■ 6チャンネルアナログ入力端子のあるアンプと接続する

ANALOG OUTPUT端子で、DVDビデオ／オーディオソースからの5.1チャンネルマルチチャンネルの音声を出力します。

ANALOG OUTPUT FRONT、SURR（サラウンド）、CENTER、SUBWOOFER端子とAVアンプのマルチチャンネル音声入力端子を接続します。

『音声出力設定』メニューで『アナログ6ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

お知らせ

● 正しく再生できるように、本機と接続したチャンネルが同じかどうか確認してください。

■ 2チャンネル音声入力端子のあるアンプと接続する

別売のオーディオ用ピンコードを使って、ANALOG OUTPUT CH1またはCH2 L/R端子と他のステレテオ機器と接続します。

『音声出力設定』メニューで『アナログ2ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

お知らせ

● プラグの色と同じ色の端子を接続してください。（赤：右（R）音声用、白：左（L）音声用）

● 接続する機器のPHONO端子またはTUNER端子には、本機を接続しないでください。

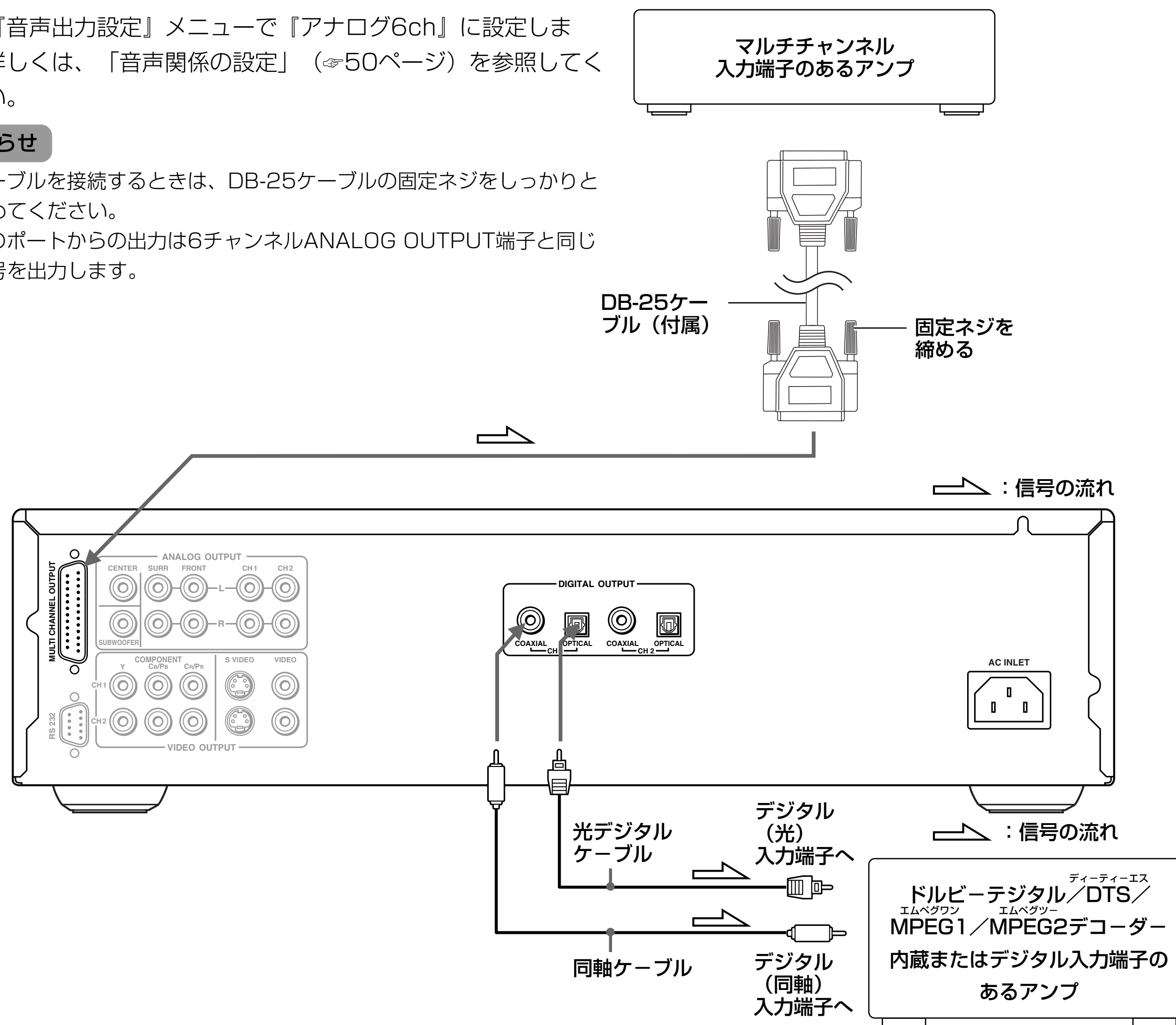
■ マルチチャンネル入力端子（DB-25端子）のあるアンプと接続する

MULTI CHANNEL OUTPUT端子（DB-25端子）で、DVDビデオ／オーディオソースからの5.1チャンネルマルチチャンネルの音声を出力します。付属のDB-25ケーブルを使って接続してください。

必ず『音声出力設定』メニューで『アナログ6ch』に設定します。詳しくは、「音声関係の設定」（☞50ページ）を参照してください。

お知らせ

- ケーブルを接続するときは、DB-25ケーブルの固定ネジをしっかりと締めてください。
- このポートからの出力は6チャンネルANALOG OUTPUT端子と同じ信号を出力します。



■ デジタル端子のあるアンプと接続する

DIGITAL OUTPUT OPTICAL CH1またはCH2端子とAVアンプの光デジタル入力端子を別売の光デジタルケーブルで接続します。DIGITAL OUTPUT COAXIAL CH1またはCH2端子とAVアンプの同軸デジタル入力端子を別売の同軸ケーブルで接続します。

ドルビーデジタル、DTS、MPEGデコーダーを内蔵しているアンプに接続するときは、本機の『音声出力設定』を『ビットストリーム』に設定してください。

デコーダーを内蔵していないアンプに接続するときは、本機の『音声出力設定』を『PCM』に設定してください。

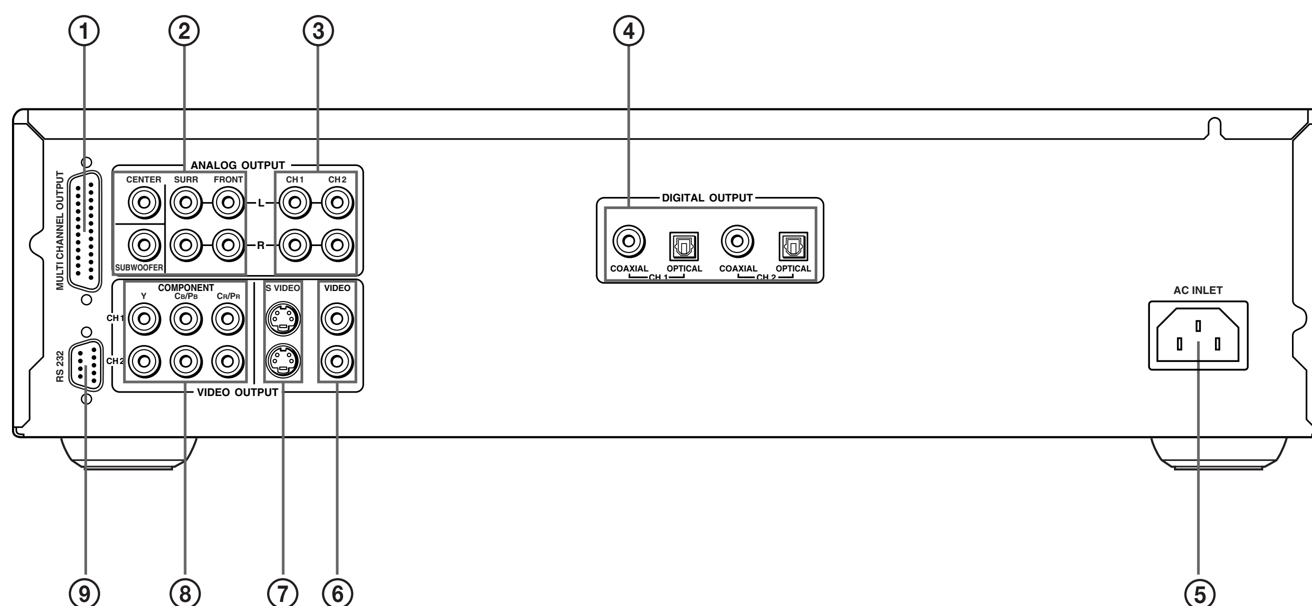
お知らせ

- どのデジタル音声方式に対応しているか、接続するAV機器の取扱説明書も参照してください。
- デジタルオーディオ接続をした後、必ず『音声出力設定』メニューで、接続したAV機器に適切なデジタル信号を設定してください。
- デジタルオーディオ接続しても、アナログ接続は必ず行ってください。

各部の名称

本体背面部

［　］内のページは、参照ページを示しています。



① MULTI CHANNEL OUTPUT（DB-25）端子［15］

② 6チャンネルANALOG OUTPUT［14］

③ 2チャンネルANALOG OUTPUT［12, 14］

④ DIGITAL OUTPUT COAXIAL／OPTICAL 端子［15］

⑤ AC INLET［19］

⑥ VIDEO 端子［12］

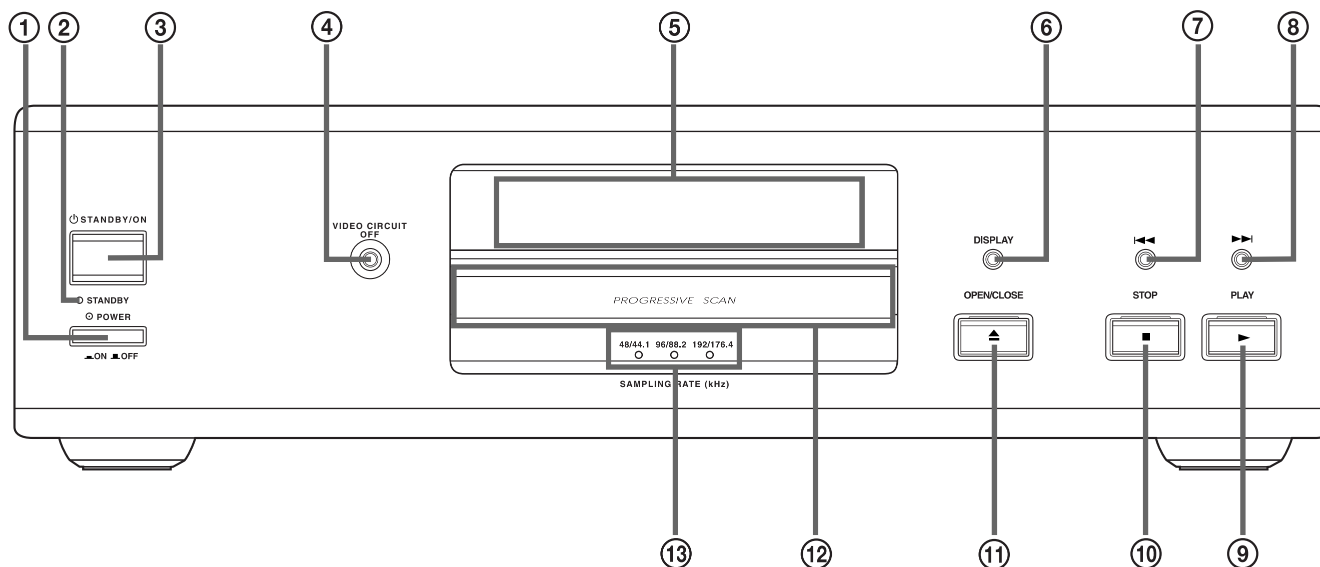
⑦ S VIDEO 端子［13］

⑧ COMPONENT (PROGRESSIVE) VIDEO OUTPUT Y／CB/PB／CR/PR 端子［13］

⑨ RS 232コネクター（外部機器を使って本機を操作するときに接続します。）

本体前面

[ ] 内のページは、参照ページを示しています。

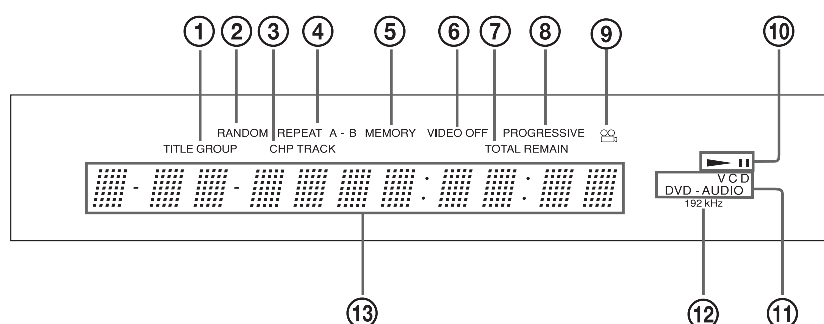


① POWER（電源）ボタン［19］
② STANDBYインジケーター［19］
③ ⏻STANDBY/ONボタン［19］
④ VIDEO CIRCUIT OFFボタン［45］
⑤ 表示部［18］
⑥ DISPLAY ボタン［18、40］
⑦ ⏮ ボタン［28］
⑧ ⏭ ボタン［28］
⑨ PLAY ► ボタン［22］
⑩ STOP ■ ボタン［23］
⑪ OPEN/CLOSE ⏏ ボタン［22］
⑫ ディスクトレイ［22］
⑬ オーディオサンプリング周波数表示［22、37］

各部の名称

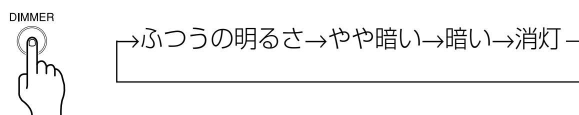
表示部

［ ］内のページは、参照ページを示しています。



① TITLE/GROUP（タイトル／グループ）表示［本ページ下段］
② RANDOM（ランダム）表示［31］
③ CHP（チャプター）/TRACK（トラック）表示［本ページ下段］
④ REPEAT（リピート）表示［29］
⑤ MEMORY（メモリー）表示［30］
⑥ VIDEO OFF（ビデオオフ）表示［45］
⑦ TOTAL（トータル）（総再生時間）／REMAIN（リメイン）（再生残り時間)／経過時間表示［本ページ下段］
⑧ PROGRESSIVE（プログレッシブ）表示［44］
⑨ アングルアイコン［34］
⑩ 再生モード表示
⑪ ディスク（種類）表示［本ページ、22］
⑫ 192 kHz表示
⑬ 多目的表示（操作内容、エラーメッセージなど）

■ リモコンのDIMMER（ディマー）を押すごとに表示部の明るさが切り換わります



お知らせ

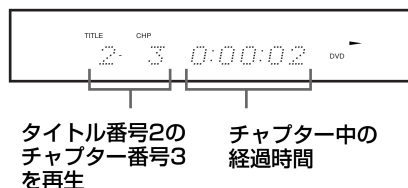
本体の電源をオフにすると、通常の明るさに戻ります。

本体のDISPLAY（ディスプレイ）を押すごとに、経過時間表示と再生残り時間表示が切り換わります。
ディスクによってはこれらの表示が出ないものもあります。

■ DVDビデオ

再生しているとき

例

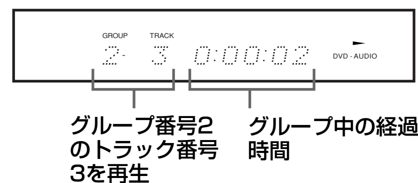


タイトル番号2のチャプター番号3を再生　チャプター中の経過時間

■ DVDオーディオ

再生しているとき

例

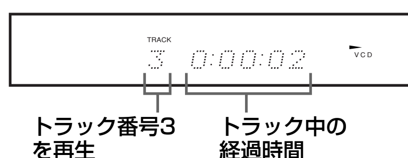


グループ番号2のトラック番号3を再生　グループ中の経過時間

■ ビデオCD

再生しているとき

例

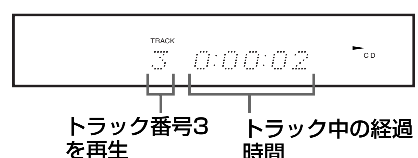


トラック番号3を再生　トラック中の経過時間

■ 音楽用CD

再生しているとき

例



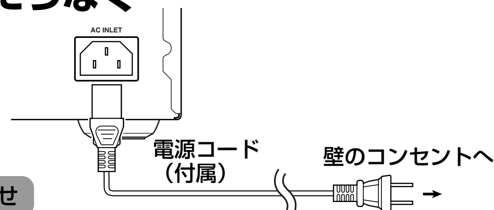
トラック番号3を再生　トラック中の経過時間

本機の電源をつなぎ、電源を入れる

接続する前に

- 工場出荷時、本機の主電源（POWER）はオン（▬ ON）に設定されています。電源コードを初めて接続すると、スタンバイインジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。（操作2と同じ状態）
- 12、15ページの接続がすべて終了しているか確認してください。
- 本機の電源を入れると瞬間的に大きな電流が流れてコンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントにつなぐようにしてください。

1 付属の電源コードを本体背面のAC INLETにつなぎ、プラグを壁のコンセントにつなぐ



お知らせ

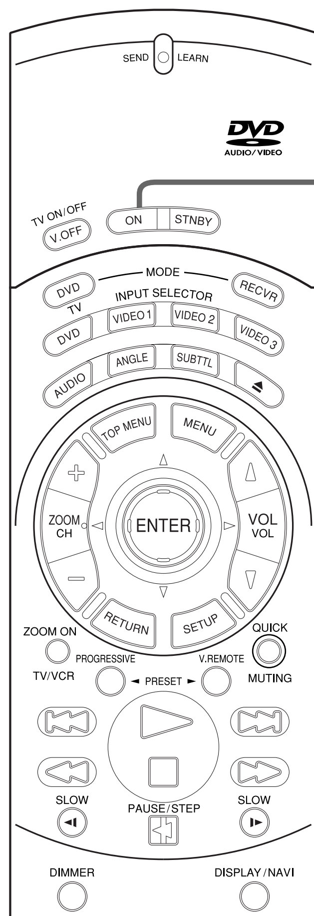
- 本機に付属されている電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また、本機以外の機器にも本機に付属の電源コードは使用しないでください。
- 感電する原因となるため、電源コードのプラグを壁のコンセントに接続したまま、本体背面から電源コードを抜かないでください。壁のコンセントに電源コードのプラグをつなぐときは最後に行い、プラグを抜くときは最初に行ってください。

2 POWERスイッチを押して、主電源を入れる

本機がスタンバイ状態になり、STANDBYインジケーターが点灯します。

お知らせ

- POWERスイッチがオフ（OFF）になっていると、リモコンボタンは働きません。
- 主電源を切るには、POWERスイッチをもう一度押します。



3 本体の⏻STANDBY/ONか、リモコンのONを押して、電源を入れる

電源が入り、STANDBYインジケーターが消えます。

本機ご購入後に初めて電源を入れたときは、基本設定画面が表示されます。ENTERを押して、本体を初期設定してください。（☞56ページ）。

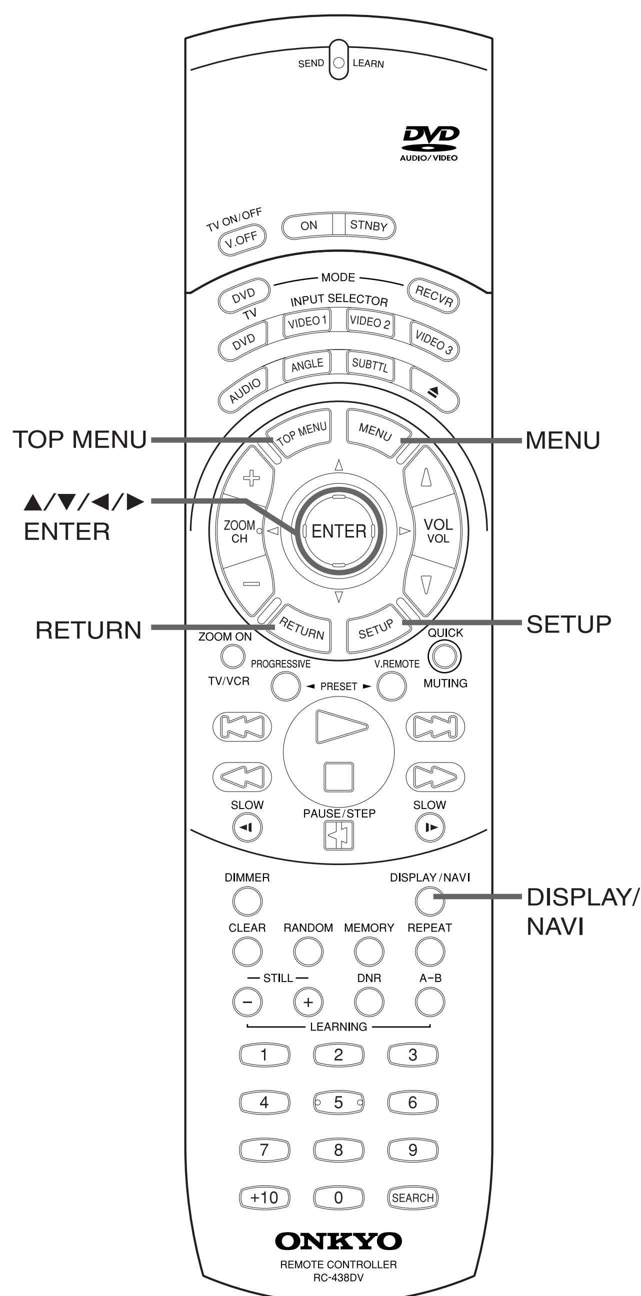
お知らせ

- 本機をスタンバイ状態にするには、本体の⏻STANDBY/ONまたは、リモコンのSTNBY（またはON）を押します。スタンバイ状態のときは、音量を下げておいてください。
- 本体のSTANDBYインジケーターが点灯しているときは、リモコンでの操作は可能です。主電源（POWER）がオフのときはリモコンの操作は効きません。
- 本手順で行った初期設定は、「機能設定メニューを確認／変更する」（☞46〜56ページ）で変更することができます。
- 本体のSTANDBY/ONやリモコンのSTNBY（またはON）を押しても、本体の主電源は切れません。

初期設定

ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

付属のリモコンの▲/▼/◀/▶ ボタンとENTER（エンター）ボタンを使って、初期設定できます。オンスクリーンメニューの反転マークをカーソルボタン（▲/▼/◀/▶）で動かし、希望の設定を選びます。次にENTERを押して、決定します。



ディスクメニューについて DVD-V DVD-A

DVDビデオやDVDオーディオには、複数の言語や複数の音声方式が含まれている場合があります。
多くの場合、このようなDVDでは、メニューで言語（ディスクメニュー言語、音声言語、字幕言語など）や音声方式などを選ぶことができるようになっています。
操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。

タイトルメニューについて DVD-V DVD-A VCD

多くの場合、DVDビデオやDVDオーディオ、PBC（ピービーシー）（Playback Control）機能付きのビデオCD（☞「ビデオCDについて」、8ページ）は、メニューでタイトルやチャプター、グループ、トラック（☞「ディスクに関する用語について」、9ページ）を選べます。
操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。

下記のボタンを使っても、初期設定できます

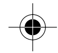
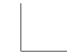
SETUP（セットアップ）：設定画面を表示させたいときに押します。詳しくは「機能設定メニューを確認／変更する」（☞46ページ）を参照してください。

MENU（メニュー）、TOP MENU（トップメニュー）：DVDのディスクに記録されているメニュー画面を選択するときに押します。

DISPLAY/NAVI（ディスプレイ/ナビ）：再生するディスクの現在の設定を表示させるときに押します。いろいろな再生機能を選ぶときにも押します。

RETURN（リターン）：１つ前の画面や設定に戻るときに押します。誤って設定や選択をして、やり直すときに押します。

DV-S939(J)p12-21_J653 20 00.9.23, 1:38 PM

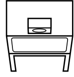
DVD-V DVD-A

音声方式と音声効果について

DTS/ドルビーデジタル
各サラウンド音声に最低限必要なスピーカー構成

センタースピーカー

左フロント
スピーカー

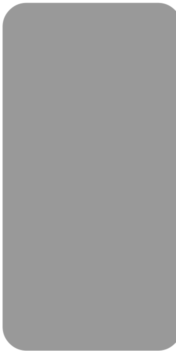


右フロント
スピーカー

左サラウンド
スピーカー



右サラウンド
スピーカー



DTS、ドルビーデジタルの、5.1チャンネルデジタルサラウンド方式は、5つ（左右フロント、センター、左右サラウンド）のフルレンジ（20Hz-20kHz）チャンネルと、低音域効果のためのLFE（Low Frequency Effect）チャンネルが独立して記録されており、それぞれのチャンネルを独立して再生することができます。これにより、劇場やコンサートホールの臨場感を再現することができます。

ドルビーデジタルサラウンド

DOLBY DIGITAL マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。

DTS（ディーティーエス）サラウンド

DTS マークのあるDVDビデオや音楽CDがこの方式で記録されています。

ドルビープロロジックサラウンド

DOLBY SURROUND マークのついたVHSビデオ、VHS Hi-Fiビデオ、LD、DVDビデオがこの音声方式で記録されています。

このサラウンド方式は、4チャンネル（左右フロント、センター、サラウンド）で構成され、センターチャンネルを強調します。音楽や会話における音の移動や、フロント3チャンネルからの音の3次元空間を表現するのに効果的です。また、劇場の脇や後ろの壁から反響するサラウンド音声効果や雰囲気も強調します。

DVDビデオ／オーディオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

再生を始める前に

● DVDビデオ／オーディオ、ビデオCD、音楽用CD、音楽用CD-R／CD-RW以外は再生しないでください。（☞「再生できるディスク」、8ページ）
● ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機器を接続した入力に切り換えてください。

DVD-V DVD-A VCD CD マークについて

DVD-V はDVDビデオの操作に関する説明です。
DVD-A はDVDオーディオの操作に関する説明です。
VCD はビデオCDの操作に関する説明です。
CD は音楽用CDに関する説明です。

警告

音声を、以下の方法で出力している場合は、DTS（ディーティーエス）方式で録音されたディスクを再生しないでください。アナログ端子からノイズが過剰出力され、接続した機器が故障する場合があります。
● アナログ接続したアンプを通して出力している場合
● テレビのスピーカーから出力している場合
DTS（ディーティーエス）方式の音声を再生するには、DTS（ディーティーエス）デコーダーが備わったアンプとデジタル端子による接続をする必要があります（☞15ページ）。

DVD-V DVD-A VCD CD

ディスクの基本的な再生

1 ⏏を押す

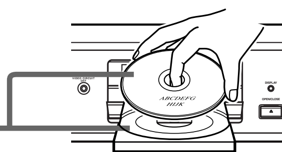
ディスクトレイが開きます。

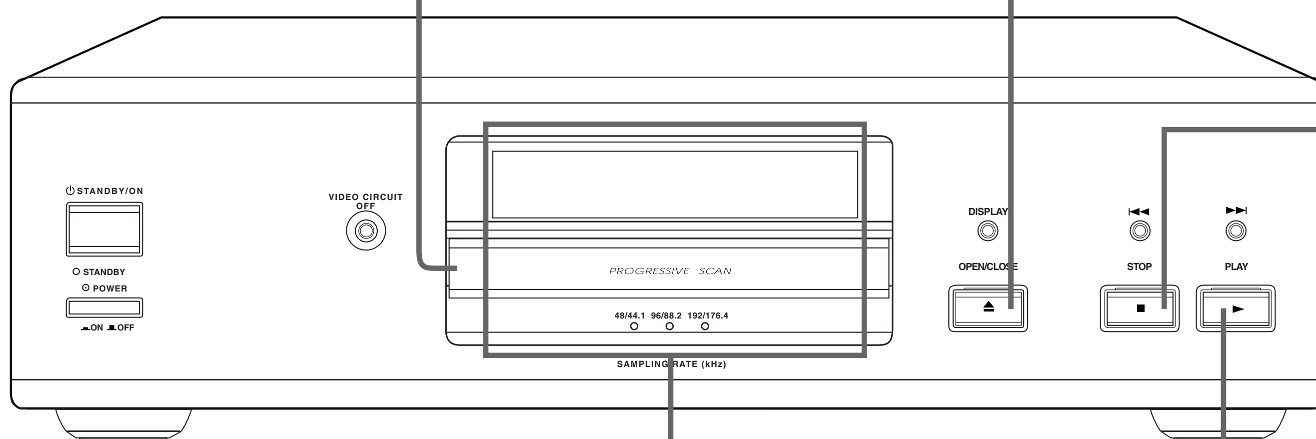
お知らせ

本機がスタンバイ状態のときに、⏏を押したときは本機の電源が入り、ディスクトレイが開きます。このときは、ディスクトレイが開くのに数秒かかります。

2 ディスクをディスクトレイに置く

ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

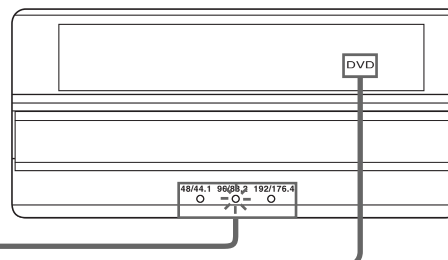




3 ►を押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
ディスクによっては、手順**2**の後で⏏を押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

セットしたディスクの種類が表示されます。
サンプリング周波数の表示情報については、37ページを参照してください。



ご注意

ディスクトレイに手を入れないでください。指をはさみ、けがの原因となることがあります。

DV-S939(J)p22-28_J653 22 00.9.23, 1:38 PM

右のようなスクリーンセーバー画面があらわれたときは



ディスク再生中、一定時間以上一時停止（ポーズ）状態にしておくと、スクリーンセーバーがはたらきます。（この機能をオフにするとこともできます。☞53ページ）

再生を始めるときは、▶を押してください。

よりよい映像を得るためには

DVDビデオを再生すると、通常はあらわれないノイズが時折画面にでることがあります。これはDVDビデオが高解像度で情報量が多いためです。ノイズ量はテレビにもよりますが、ノイズがでるときは、テレビのシャープネスをマイナス方向に調整してください。

■ ディスクを取り出す

⏏ を押して、ディスクトレイを開く

ディスクが完全に開いたら、デイスクを取り除きます。
その後、再度 ⏏ を押してトレイを閉じてください。

■ 再生を一時停止する／コマ送り再生する

再生中に ⏸ を押す

再生を再開するには、再度 ▶ を押してください。

DVD-V VCD コマ送り再生をするには

一時停止中に ⏸ を繰り返し押してください。押すごとに、1コマずつ進みます。通常の再生に戻すときは ▶ を押してください。

お知らせ

- 一時停止中やコマ送り再生中は、音声は再生されません。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、映像部分でコマ送り再生ができる場合があります。

■ 再生を停止する

■ を押す

再度再生を始めるときは、 ▶ を押してください。再生を止めたところから再生が始まります。

お知らせ

再生が始まるところは、ディスクや再生場所によってことなります。

最初から再生を始めるには

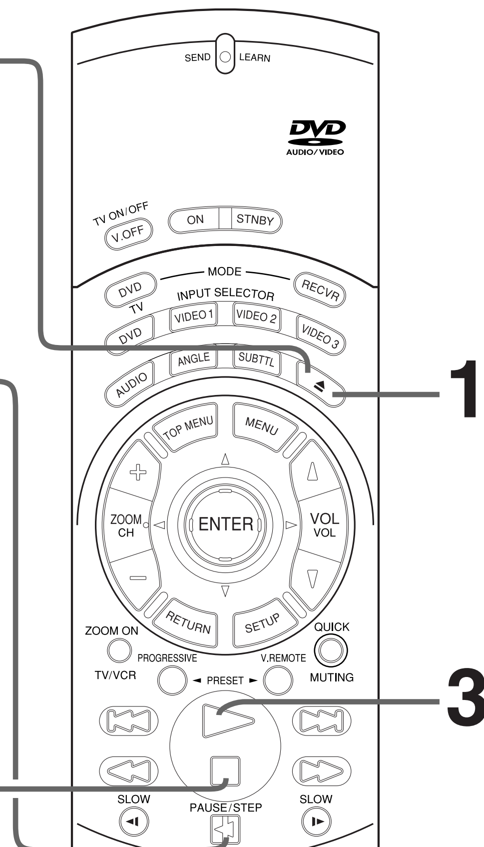
再生停止後、もう一度 ■ を押してから ▶ を押してください。

DVD-V 現在のタイトルの始めから再生が始まります。
DVD-A 現在のグループの始めから再生が始まります。
ディスクの始めから再生するときは、一度ディスクトレイを開き、そのまま閉じてから再生を始めます。
VCD CD ディスクの始めから再生が始まります。

お知らせ

再生を止めたところから再生が始まるのは止めた場所（ロケーション）が本機のメモリーに記録されているからですが、以下の場合は、メモリーが初期化されます。

- 電源スイッチを入切したとき
- ディスクトレイを開いたとき
- 『パレンタルロック』の設定を変えたとき（☞54ページ）や、『ディスクメニュー言語』を変えたとき（☞52ページ）
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。特にDVDオーディオではトラックの先頭に戻る場合があります。
- 続き再生中の機能設定画面での『音声出力設定』（☞50ページ）と『画面表示言語』（☞52ページ）の変更は、続き再生を解除した後から働きます。



お知らせ

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ディスクトレイを開け閉めするときは ⏏ を押してください。また、ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障につながります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障につながります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、 ■ を押してください。

DVD ビデオ／オーディオ、ビデオ CD、音楽用 CD を再生する

■ 早送り、早戻しをする

DVD-V DVD-A VCD CD

再生中に、◀◀（早送り）／▶▶（早戻し）を押す

同じボタンを押すたびに、再生速度が変わります。

再生速度と方向は、矢印（◀または▶）で画面の端に表示されます。

通常の再生に戻すときは

▶ を押します。

お知らせ

- 早送り、早戻し再生のときは、音声は再生されません。
- 再生速度はディスクによって多少違います。
- ディスクによっては早送り、早戻しできない場合があります。

■ スローモーションで再生する

DVD-V VCD

再生中に、SLOWボタンを押す

I▶（スロー再生）：　ボタンを押す度に、再生速度が変わります。

◀I（逆スロー再生）：　ボタンを押す度に、逆再生速度が変わります。（このボタンはDVDビデオ再生時のみはたらきます。）

通常の再生に戻すときは

▶ を押します。

お知らせ

- スロー再生中は、音声は再生されません。
- 再生速度はディスクによって多少違います。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、映像部分でスロー再生できる場合があります。

■ 静止画を再生する

DVD-A

DVDオーディオには大きく分けて2種類の静止画が記録されていることがあります。

スライドショー

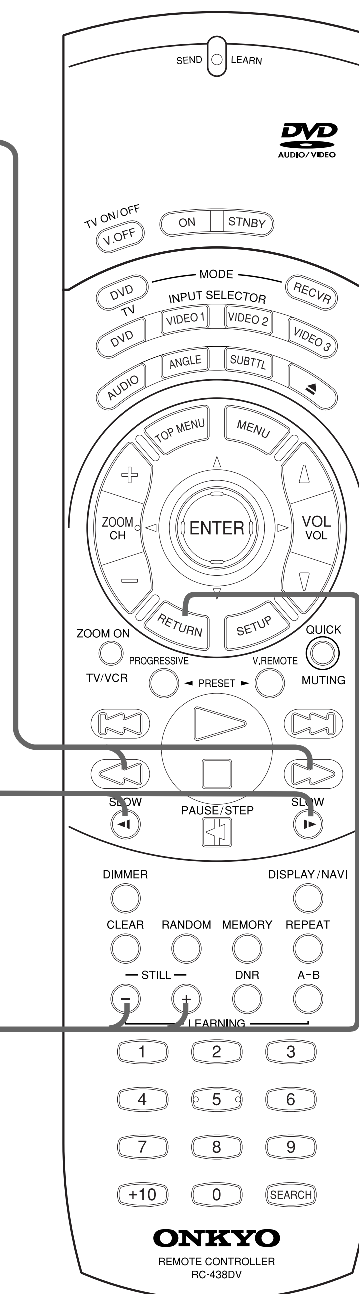
ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。お客様による操作はできません。

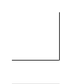
ブラウザブルピクチャー

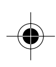
好きな静止画を選択して再生できます。これらの静止画は、リモコンのボタンを使って探すことができます。また、ブラウザブルピクチャーの中でも自動的に静止画が切り換わるタイプもあります。

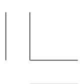
STILL +/–：　静止画をめくります。（ディスクによっては、めくる順番が変わることがあります。）

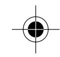
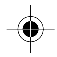
RETURN：　ディスクで決められた静止画に戻ります。

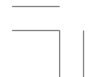
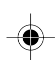
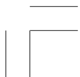








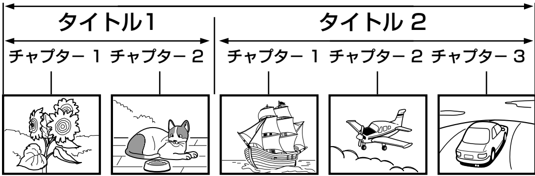




タイトル／グループ／チャプター／トラックを指定して再生する

ディスク構成

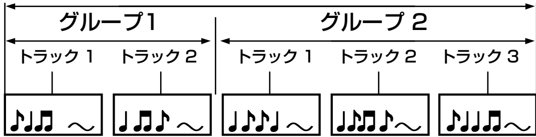
DVDビデオ

通常、DVDビデオは『タイトル』に分かれ、タイトルはさらに『チャプター』に分かれます。



DVDオーディオ

通常、DVDオーディオは『グループ』に分かれ、グループはさらに『トラック』に分かれます。



DVD-V

メニュー画面でタイトルを指定して再生する

DVDビデオにメニューがあるときは、そのメニュー機能を使用してタイトルを選べます。

1 TOP MENU（トップメニュー）を押す（ディスクによってはMENU（メニュー）ボタンを押す）

メニューがテレビ画面に表示されます。

メニュー例

タイトル 1　タイトル 2　タイトル 3　タイトル 4

2 ▲/▼/◀/▶ を押して、タイトルを選ぶ

タイトルに番号がついているときは、数字ボタンを押して直接タイトルを指定することもできます。

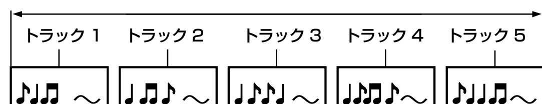
3 ENTER（エンター）を押す

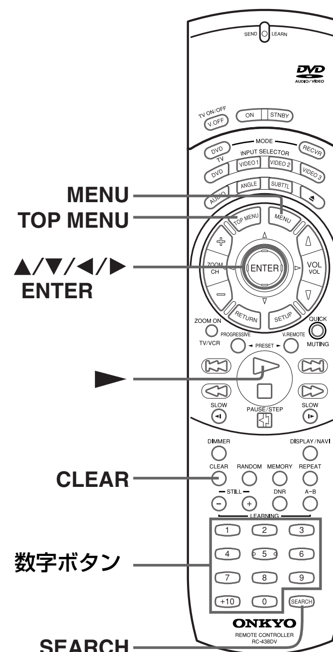
選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

- 上記の操作は基本的な説明で、実際はディスクによって異なる場合もあります。画面に操作方法が表示されたときはそれにしたがって操作してください。
- 再生中にTOP MENU（トップメニュー）（ディスクによってはMENU（メニュー））を押してメニューを表示し、タイトルを選ばずに再度TOP MENU（トップメニュー）（ディスクによってはMENU（メニュー））を押すと、通常、最初にタイトルを押したところから再生が始まります。（ディスクによって異なる場合があります。）
- ディスクにメニューが含まれていないとこの機能は使えません。
- ディスクによって、「TOP MENU（トップ メニュー）」以外の名称でこのボタンを表している場合があります。

ビデオCD／音楽CD
ビデオCDや音楽用CDは『トラック』に分かれます。





DVD-V DVD-A VCD CD

タイトルとチャプター、グループとトラック番号を指定して再生する

DVD ビデオにタイトルとチャプター、DVDオーディオにグループとトラックに対応した番号があるときは、それぞれの番号を指定してタイトル、グループ、チャプターまたはトラックを選ぶことができます。

1 SEARCH（サーチ）を押す
ビデオCD／CDを使用中は手順**1**と**2**を飛ばし、手順**3**を行ってください。
メニューがテレビ画面に表示されます。

例
DVD-V
タイトル: 1
チャプター: 1

DVD-A
グループ: 1
トラック: 1

2 ▲/▼を押して、選びたいタイトルやチャプターの番号を選ぶ
例：タイトル番号やチャプター番号を選ぶとき

例
DVD-V
タイトル: 1
チャプター: 1

DVD-A
グループ: 1
トラック: 1

3 数字ボタンを押して、タイトルやチャプターの番号を入力する
例：タイトル番号やチャプター番号25を選ぶとき

2 → 5
または
+10 → +10 → 5

4 必要に応じて手順2と3を繰り返す

5 ► を押す
選んだ箇所から再生が始まります。

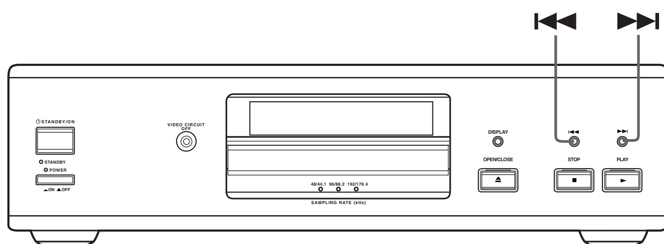
お知らせ
- CLEARを押すと、番号の表示は設定前に戻ります。表示そのものを消すときは、SEARCHを数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。
- タイトル（グループ）番号の記録されていないディスクでは、タイトル（グループ）番号を使った頭出しはできません。

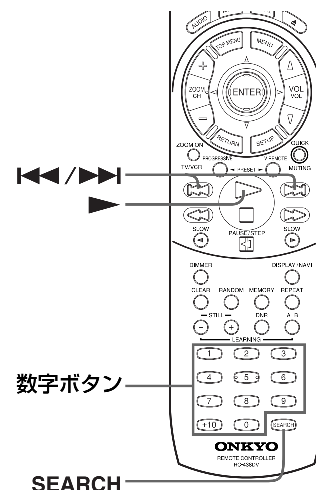
■ DVDオーディオのボーナスグループの再生

DVDオーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれるものが記録されていることがあります。これを再生しようとすると、自動的にキーナンバーを入力する画面になります。番号ボタンでキーナンバーを入力し、ENTERを押してください。入力したキーナンバーが正しければ、このボーナスグループの再生ができます。キーナンバーの入手方法は、ディスクによって異なりますので、ジャケット等を参照してください。

お知らせ
- ディスクを取り出したときなどは、入力したキーナンバーが消去されます。必要なときは、もう一度キーナンバーを入力してください。
- メモリー再生などでボーナスグループを再生したいときは、あらかじめキーナンバーを入力しておいてください。

タイトル／グループ／チャプター／トラックを指定して再生する





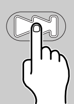
DVD-V DVD-A VCD CD

再生中に、前後のチャプター／トラックを頭出しする

現在のチャプター／トラックから続いたチャプター／トラックを選んで再生することができます。

リモコン





本体

|◀◀



▶▶|



|◀◀ または ▶▶| を（繰り返し）押して、再生するチャプター／トラックの頭出しをする

|◀◀ を1回押すと、現在のチャプター／トラックの頭から再生が始まります。

|◀◀ を続けて押すと、押すごとに1つ前のチャプター／トラックに戻ります。

▶▶| を押すと、押すごとに1つずつ次のチャプター／トラックに移ります。

お知らせ

- タイトル（グループ）によってはチャプター（トラック）番号を表示しないものもあります。
- 『タイトル／グループ停止』（☞55ページ）を『オフ』に設定しているときは、他のタイトル（グループ）のチャプター（トラック）も続けて頭出しできます。
  ただし、|◀◀ を押して前のタイトル（グループ）に戻ったときは、そのタイトル（グループ）の最初のチャプター（トラック）から再生が始まります。
  『タイトル／グループ停止』を『オン』に設定していると、現在のタイトル（グループ）内でのチャプター（トラック）の頭出しになります。

DVD-V VCD CD

経過時間を指定して再生を始める

時、分、秒を指定して、再生を始めることができます。

1

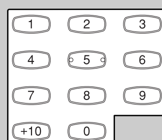


SEARCH（サーチ）を2回押す

ディスクによっては2回以上押す必要があります。下の表示が画面にあらわれるまで押してください。

タイム -:--:--

2



数字ボタンを押して、時、分、秒を入力する

例： 1 → 2 → 5 → 3 → 0

時　分　秒

タイム 1:25:30

3



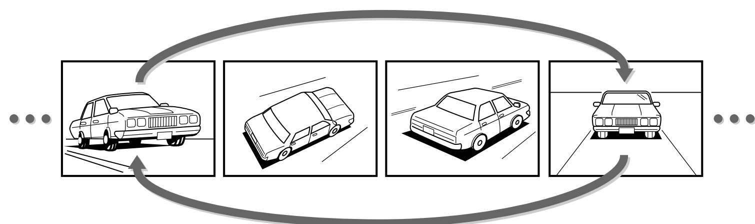
▶ を押す

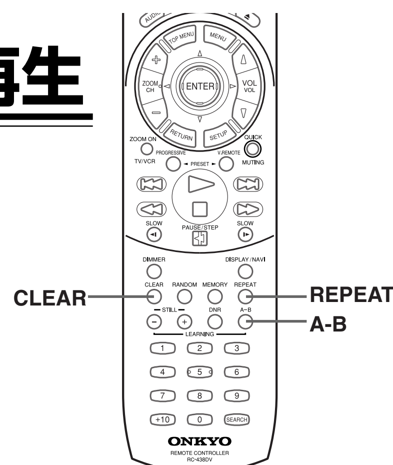
指定した経過時間の場面から再生が始まります。

お知らせ

- 操作2で、入力した時間がディスクの再生時間より長い場合は、キャンセルされます。
- ディスクによってはこの機能は使用できません。
- 場面によっては指定した時間からずれて再生されることがあります。
- この機能は、DVDビデオの場合は現在のタイトル内、ビデオCDや音楽用CDの場合は現在のトラック内ではたらきます。

繰り返し再生をする － リピート再生





選んだタイトルやグループ、チャプター、トラックを繰り返し再生したり、ある部分を選び、そこだけ繰り返し再生したりすることができます。

DVD-V DVD-A VCD CD

選んだタイトル、グループ、チャプター、トラックをリピート再生する

1 リピート再生したいタイトル、グループ、チャプター、トラックを選ぶ（☞26〜28ページ）

2 REPEAT

REPEAT（リピート）を押す

本体表示部に、REPEAT（リピート）表示が点灯します。画面表示とリピートモードは、押すごとに以下のように変わります。

チャプターリピート

DVD-V	チャプターリピート	選んだチャプターを繰り返します。
DVD-A	トラックリピート	選んだトラックを繰り返します。
	↓	
DVD-V	タイトルリピート	選んだタイトルを繰り返します。
DVD-A	グループリピート	選んだグループを繰り返します。
VCD	トラックリピート	選んだトラックを繰り返します。
CD	トラックリピート	選んだトラックを繰り返します。
	↓	
DVD-V DVD-A VCD CD	オールリピート	ディスクを繰り返し再生します。
	↓	
	リピートオフ	通常再生に戻ります。

■ 通常再生に戻すには



CLEAR（クリア）を押す

お知らせ

- ディスクによってはリピート再生はできません。
- ►はREPEATを押したあと、約5秒以内に押してください。

DVD-V VCD CD

選んだ部分だけを繰り返して再生する －A-Bリピート再生

A点とB点を選び、A点からB点までを繰り返し再生します。

1 A-B

繰り返しを始めるところで、A-B（エー ビー）を押す

A点が設定されます。

画面には、『A-』が点滅表示し、本体表示部にはREPEAT（リピート）表示が点灯します。

A－

2 A-B

繰り返しの終わりで、A-B（エー ビー）を押す

B点が設定されます。

A－B

自動的にA点に戻り、A-Bリピート再生が始まります。

画面には、『A-B リピート』が点灯し、本体表示部には引き続きREPEAT（リピート）表示が点灯します。

■ 通常再生に戻すには



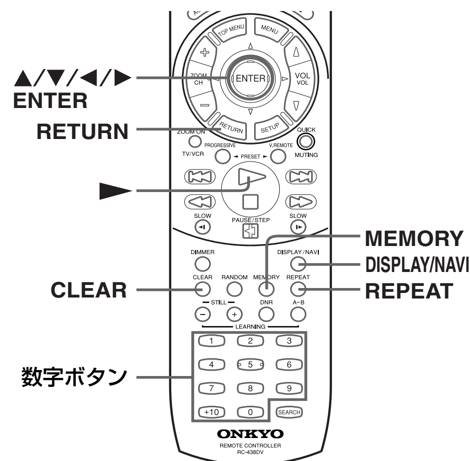
CLEAR（クリア）を押す

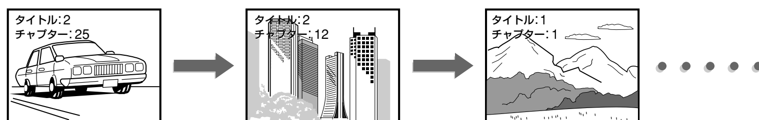
お知らせ

- ディスクによってはA-Bリピート再生はできません。
- A-Bリピート再生は、選んだタイトル内、チャプター内、トラック内で働きます。
- マルチアングルで記録されている部分は、A-Bリピート再生はできません。
- ディスクによって、A-Bリピート再生したときの始点（A点）の位置が変わることがあります。

DV-S939(J)p29-31_J653 29 00.9.23, 1:39 PM

お好みの順序で再生する ー メモリー再生



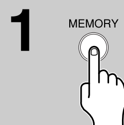


タイトル、グループ、チャプター、トラックを好みの順序で再生することができます。最大30通りまで設定することができます。

DVD-V DVD-A VCD CD

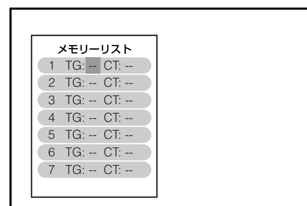
タイトル、グループ、チャプター、トラックの再生順序をメモリーに記憶させて再生する

1



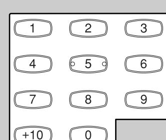
ディスクを本機にセットし、停止中にMEMORYを押す

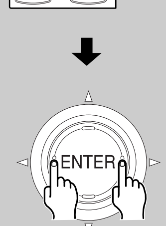
下の表示が画面にあらわれます。

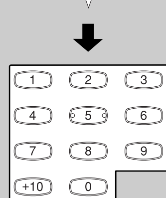


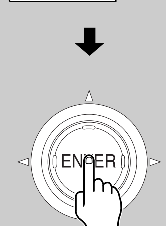
TG: タイトル番号／グループ番号
TC: チャプター番号／トラック番号

2









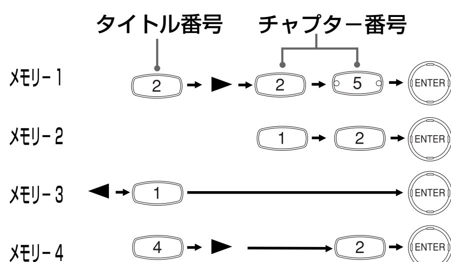
DVD-V DVD-A

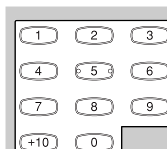
1 数字ボタンを押して、タイトルまたはグループ番号を入力する
2 ► を押して『CT』列の『--』を反転させる
3 数字ボタンを押して、チャプターまたはトラック番号を入力する
4 ENTERを押して、確定する

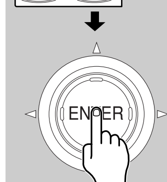
同じタイトル／グループの別のチャプター／トラックを入力する

数字ボタンでチャプター／トラック番号を入力してください。

例：順に、以下のような選択をするとき
タイトル2のチャプターー25
タイトル2のチャプターー12
タイトル1のすべてのチャプター
タイトル4のチャプターー2







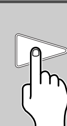
VCD CD

数字ボタンを押してトラック番号を入力し、ENTERを押して確定する

この繰り返しで次のトラックを選びます。

このとき「TG」の位置に数字が表示されていても、ビデオCD／音楽用CDのときは、操作には関係ありません。

3



MEMORY画面が表示されている間に ► を押す

メモリー再生が始まり、本体表示部のMEMORY表示が点灯に変わります。

■ メモリー再生の内容を変更する／消去する

1 メモリーリスト画面が表示されている間に、▲/▼ を押して変更／消去するプログラムを選ぶ
2 変更するときは、左欄の手順2にしたがって別のプログラムを入力する
消去するときは、CLEARを押す

■ 通常再生に戻すには

CLEARを押す

表示部のメモリー再生表示が消えます。

■ 再生中にメモリー再生を始めるには

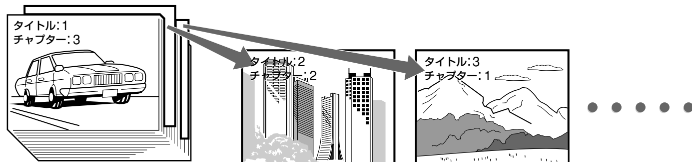
1 再生中にMEMORYを押す
コマンドを受け付ける画面が表示されます。
2 QUICKを押してメモリーリスト画面を表示し、▲/▼ を押してプログラムを選び、左欄の手順2と3にしたがって操作する

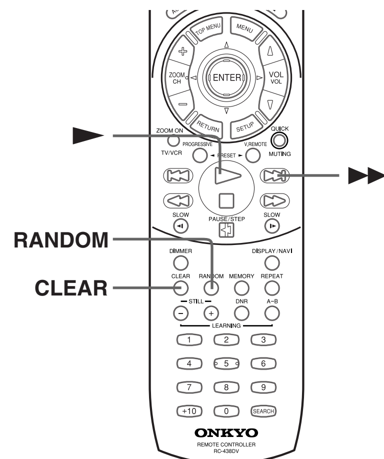
お知らせ

- 番号を10ずつ増やすときは、+10（プラス10ボタン）も使用できます。
- ディスクによってはメモリー再生はできません。
- メモリー再生中にREPEATを押すと、メモリー再生を繰り返し再生することができます。
- メモリーリスト画面表示中に、MEMORYまたはRETURNを押すと、メモリーリスト画面は消えます。
- 電源を切ると、メモリー再生の内容は消去されます。

DV-S939(J)p29-31_J653 30 00.9.23, 1:39 PM

順不同で再生する
ー ランダム再生





タイトルや、チャプター、トラック、また、特定のタイトル内のチャプターをランダムに再生することができます。

DVD-V VCD CD

タイトル／チャプター／トラックをランダム再生する



RANDOM(ランダム)を押す

本体表示部にRANDOM(ランダム)表示が点灯します。
ボタンを押すたびに、ランダム再生モードが切り換わります。

チャプターランダム

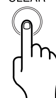
DVD-V	チャプターランダム	同じタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
↓		
DVD-V	タイトルランダム	ディスク内のタイトルを順不同に再生します。
VCD	トラックランダム	ディスク内のトラックを順不同に再生します。
CD	トラックランダム	ディスク内のトラックを順不同に再生します。
↓		
ランダムオフ		普通の再生に戻ります。

再生中にRANDOMを押すと、現在再生中のタイトル／チャプター／トラックが終了してからランダム再生が始まります。

お知らせ

► はRANDOMを押したあと、約5秒以内に押してください。

■ 通常再生に戻すには

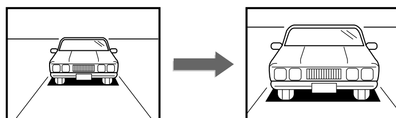


CLEAR(クリア)を押す

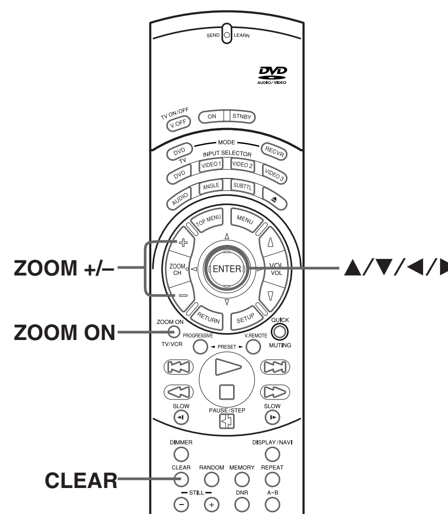
お知らせ

- ディスクによってランダム再生はできません。
- メモリー再生との併用はできません。
- ランダム再生中に ►►I を押すと、別のタイトル／チャプター／トラックに移り、ランダム再生が続きます。

ズーム機能を使う



画像を拡大することができます。



DVD-V

画像を拡大（縮小）する／拡大（縮小）した画像の中心を移動する

ZOOM ON

再生中に、ZOOM ON（ズームオン）を押す

スローモーション再生や一時停止のときにも操作できます。

ズームする倍率と場所を選びます。
ZOOM＋：ズームする倍率が上がります。
ZOOM－：ズームする倍率が下がります。

拡大（縮小）した画像の中心点を移動するには

▲/▼/◀/▶を押す

CLEAR

中心点を移動した後、元（画像の中心）に戻すには

CLEAR（クリア）を押す

■ 通常の大きさの画像に戻すには

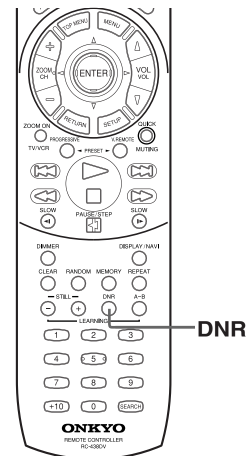


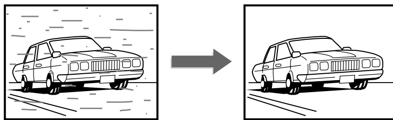
『ズームオフ』が表示されるまで、ZOOMを繰り返し押す

お知らせ

- ディスクによってはズーム機能ははたらきません。
- 場面によって上記の説明通りにボタン操作ができない場合もあります。
- ズーム機能はディスクに記録されている字幕や、メニュー画面に対してははたらきません。
- ズーム再生中は、ディスクに記録されているメニューの選択ができません。ディスクに記録されているメニューを使うときは、ズーム再生を解除してください。
- 拡大の倍率は、『TV画面形状』（☞48ページ）の設定によって違ってきます。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、映像部分でのズーム再生ができる場合もあります。

画質を切り換える





ノイズの少ない画面で再生できます。

DVD-V　VCD

DNR再生する



再生中に、リモコンのDNR（ディーエヌアール）を押す

現在のDNRの設定状態が表示されます。DNRを押すたびに、次のように切り換わります。

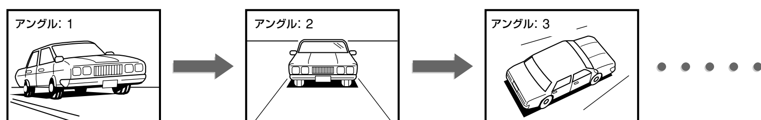


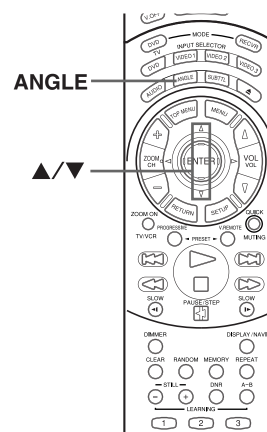
3D DNR：3 Dimension（デメンション）（＝3次元）Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション）の略です。

お知らせ

- ディスクによって、DNR効果が異なります。
- DNR効果により、お好みの画質にならないときは、DNRをオフにしてください。
- DNR効果により、場面によっては、細かな画が見えなくなることがあります。
- ディスクにより、場面によっては、細かな画が見えなくなることがあります。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、映像部分でDNR効果がはたらく場合もあります。

カメラアングルを切り換える





複数のカメラアングルが記録された場面では、お好みのカメラアングルを選ぶことができます。

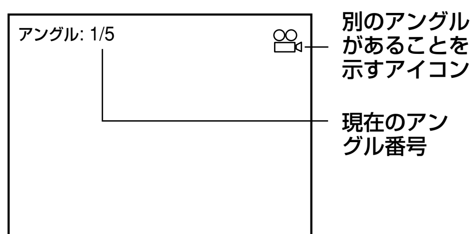
DVD-V

複数のカメラアングルが記録された場面から、アングルを選ぶ

1 

複数のカメラアングルが記録されている場面で、ANGLE（アングル）を押す

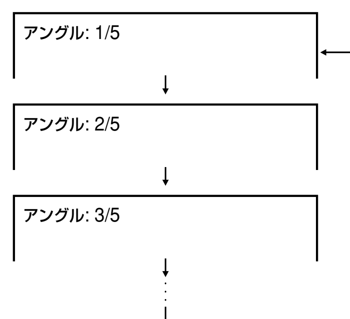
複数のカメラアングルが記録されている場面では、『🎥』がテレビ画面に表示されます。



2 

アングル番号が表示されている間に、ANGLE（アングル）または ▲を押す

押すたびに、以下のようにアングルが切り換わります。



▼を押すと、逆回りにアングルが切り換わります。

数字ボタンで、直接アングル番号を選ぶこともできます。
CLEARを押すと、アングル番号表示が消えます。

■ テレビ画面にアングルアイコンを表示させなくするには

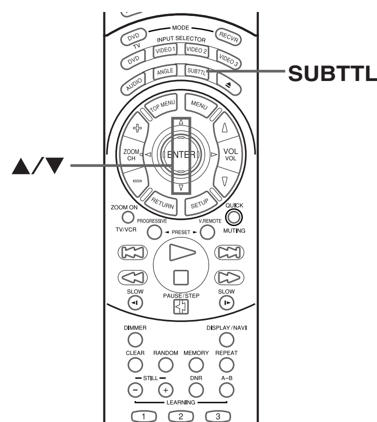
『画面表示』を『オフ』に設定します。（☞53ページ）
アングルを切り換えたいときは、本体表示部のアングルアイコンの点滅中に切り換えます。

お知らせ

- 一時停止中もアングル番号を選ぶことができますが、このときは、再生を再開してから選んだアングルに切り換わります。
- アングルを選んだ後すぐに一時停止すると、再生を再開したときに選んだアングルにならないときがあります。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、マルチアングルで記録されている映像部分でアングルが切り換えられる場合もあります。

字幕言語を選ぶ／字幕を表示させる





ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示させることができます。
また、複数の字幕言語が記録されていたら、字幕の言語を選ぶこともできます。

DVD-V

字幕言語を切り換える

1 SUBTTL

再生中にSUBTTL（サブタイトル）を押す

現在の字幕設定が3秒間表示されます。

字幕: JPN オン

言語　　現在の字幕設定

言語名はコードで表示されます。言語コード表で確認してください。
（☞57ページ）

2 SUBTTL / ENTER

字幕設定画面が表示されている間に、SUBTTLまたは ▲を押す

ボタンを押すたびに、以下の例のように表示が変わります。

例：

字幕: JPN オン
↓
字幕: ENG オン
↓
字幕: FRE オン
↓
⋮
字幕: ＿＿＿ オフ

▼を押すと、逆回りに表示が切り換わります。
CLEARを押すと、字幕設定の表示が消えます。

お知らせ

- 電源を切ったり、ディスクを入れ替えたりすると、字幕設定は、機能設定メニュー（☞53ページ）の設定に戻ります。
- ディスクにない字幕言語を選ぶと、選ぶ前の字幕言語に戻ります。
- 場面によっては上記手順**2**のあと、すぐには字幕言語が切り換わらない場合もあります。

DVD-V

字幕を表示させる

1 SUBTTL

再生中にSUBTTL（サブタイトル）を押す

現在の字幕設定が約3秒間表示されます。

2 ENTER

字幕設定表示中に ◀/▶ で、『オン』または『オフ』を選ぶ

字幕: JPN オン ―― 3秒間表示

おはよう！ ―― 字幕

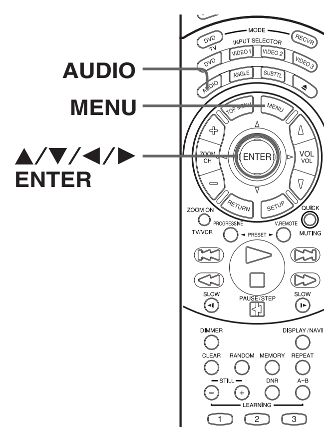
↑↓

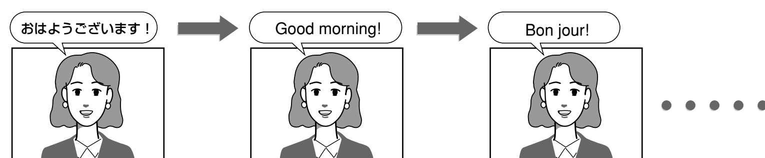
字幕: JPN オフ ―― 字幕を消します

お知らせ

- ディスクによっては自動的に字幕が表示されるように設定されています。このときは、字幕機能を『オフ』にしても、字幕を消すことはできません。
- 場面によっては字幕を『オン』にしても、すぐに字幕があらわれないこともあります。
- ディスクによっては、ディスクに用意されたメニューでしか、字幕のオン／オフを操作できない場合があります。
- 映像が記録されたDVDオーディオでは、字幕が記録されている映像部分で字幕を選べる場合もあります。

お好みの音声言語や、音声方式を選ぶ





ディスクに複数の音声言語や音声方式が用意されていたら、そのうちの1つを選ぶことができます。

DVD-V DVD-A VCD

音声言語・方式を選ぶ

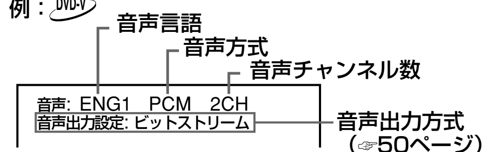
複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。 機能設定メニューの設定（☞46、52ページ）で自動的に選択された音声言語を以下の手順で一時的に変えることができます。また、ディスクが複数の音声方式で記録されている場合は、音声言語とのセットで音声方式も選べます。

1 

再生中に、AUDIO（オーディオ）を押す

現在の設定が約3秒間表示されます。

例：DVD-V



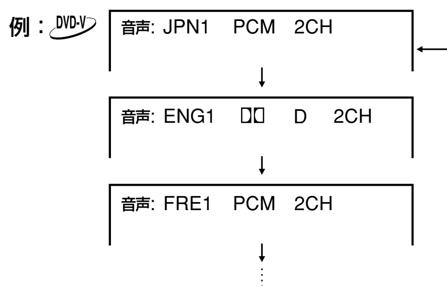
言語名はコードで表示されます。言語コード表で確認してください。（☞57ページ）

2 

音声言語・音声方式設定画面が表示されている間に、AUDIO（オーディオ）または ▲ を押す

ボタンを押すたびに、以下の例のように表示が変わります。

例：DVD-V



▼ を押すと、逆回りに表示が切り換わります。音声設定の表示を消すには、CLEARを押します。

お知らせ

- Dolby Digital（ドルビーデジタル） 5.1チャンネル音声は、『◻◻ D 6CH』と表示される場合があります。
- ◀/▶を押すことで、『音声出力設定』を一時的に変更することができます。変更するときは、50ページの説明を参照してください。
- DVDオーディオでは切り換えができない場合があります。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、MENUを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- DVDオーディオでは、ディスクに記録されているサンプリング周波数、ビット数が表示されることがあります。
- DVDオーディオでは、音声を切り換えると、現在再生しているトラックの先頭に戻り、再生される場合があります。

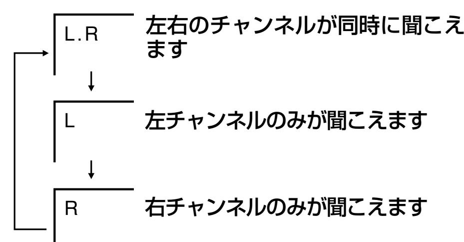
VCD

ビデオCDの音声チャンネルを選ぶ

ビデオCDには左右の音声チャンネルが含まれている場合があり、それぞれのチャンネルに音声や言語が割り当てられている場合、チャンネルを切り換えることができます。



再生中に、AUDIO（オーディオ）を繰り返し押して、音声チャンネルを選ぶ



出力される音声の種類

音声出力設定とデジタル端子の出力信号、アナログ信号変換の相関表

ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力設定」と出力端子							
			「ビットストリーム」		「アナログ6ch」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			デジタル出力	アナログ出力	デジタル出力	アナログ出力	デジタル出力	アナログ出力	デジタル出力	アナログ出力
DVDビデオ	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	—	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	—	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	—	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	(ノイズが出力)	ビットストリーム	(ノイズが出力)	ビットストリーム	(ノイズが出力)	ビットストリーム	(ノイズが出力)
DVDオーディオ	リニアPCMまたはパックドPCM	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	—	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
		48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		44.1 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	—	44.1 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		44.1 kHz/24 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/24 bit	—	44.1 kHz/24 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/24 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/24 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	—	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		88.2 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	—	88.2 kHz/16 bit	—	88.2 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		88.2 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	—	88.2 kHz/20 bit	—	88.2 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		88.2 kHz/24 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	—	88.2 kHz/24 bit	—	88.2 kHz/24 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/24 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		※ 176.4 kHz/16 bit	—	176.4 kHz/16 bit	—	176.4 kHz/16 bit	—	176.4 kHz/16 bit	—	176.4 kHz/16 bit
		※ 192 kHz/16 bit	—	192 kHz/16 bit	—	192 kHz/16 bit	—	192 kHz/16 bit	—	192 kHz/16 bit
		※ 176.4 kHz/20 bit	—	176.4 kHz/20 bit	—	176.4 kHz/20 bit	—	176.4 kHz/20 bit	—	176.4 kHz/20 bit
		※ 192 kHz/20 bit	—	192 kHz/20 bit	—	192 kHz/20 bit	—	192 kHz/20 bit	—	192 kHz/20 bit
		※ 176.4 kHz/24 bit	—	176.4 kHz/24 bit	—	176.4 kHz/24 bit	—	176.4 kHz/24 bit	—	176.4 kHz/24 bit
		※ 192 kHz/24 bit	—	192 kHz/24 bit	—	192 kHz/24 bit	—	192 kHz/24 bit	—	192 kHz/24 bit

※　2チャンネル音声
—：無信号

お知らせ

- 2本のスピーカーで再生している場合、ステレオ再生禁止のマルチチャンネル記録のディスクを再生すると、再生される音声はダウンミックス（集約）されないため、左／右スピーカーからはマルチチャンネルで記録されている左／右チャンネルそのままを出力します。これらのディスクは、同じ内容のものを2ch音声チャンネルでも収録している場合がありますので、音声を切り換えてお聞きください。（詳しくは、ディスクに付属の説明書などをご覧ください。）
- 『音声出力設定』が『ビットストリーム』または『PCM』に設定されていて、48 kHz以上のサンプリング周波数（例えば96 kHzなど）で録音されたディスクを再生すると、48/44.1サンプリング周波数表示が点灯します。
- 『音声出力設定』が『アナログ6ch』に設定されているとき、2チャンネルのオーディオソースがドルビープロロジックサラウンド方式で出力されます。（DVDオーディオ以外）

バーチャルリモコンを使う― V.REMOTE ―

画面上でリモコン操作ができます。

▲/▼/◀/▶
ENTER

V.REMOTE

DVD-V VCD CD

バーチャルリモコンを使う

1 

再生中に、V.REMOTE（ヴィ・リモート）を押す

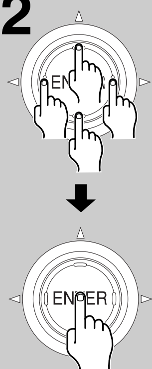
リモコンのアイコン（バーチャルリモコン）が表示されます。

例： DVD-V



映像と音声の種類を切り換えられます

再生の速さと方向を切り換えられます

2 

▲/▼/◀/▶ を押して、希望する項目を選び、ENTER（エンター）を押す

II/II▶ ：一時停止［23］／コマ送り［23］
▶ ：普通の再生［22］
I▶ ：スローモーション［24］
▶▶I ：進む方向の頭出し［28］
▶▶ ：早送り［24］
◀I ：戻る方向のスローモーション［24］
I◀◀ ：戻る方向の頭出し［28］
◀◀ ：早戻し［24］
Navi ：ナビ画面を表示（DVDビデオのみ）［40］
音声 ：▲/▼ を押して好きな音声を選び、ENTERを押す
詳しくは36ページをご覧ください。
ここでは音声出力方式の切り換えはできません。
字幕 ：▲/▼ を押して好きな字幕言語を選び、ENTERを押す
詳しくは35ページをご覧ください。
アングル：▲/▼ を押して好きなアングルを選び、ENTERを押す
詳しくは34ページをご覧ください。

■ バーチャルリモコンを消すには



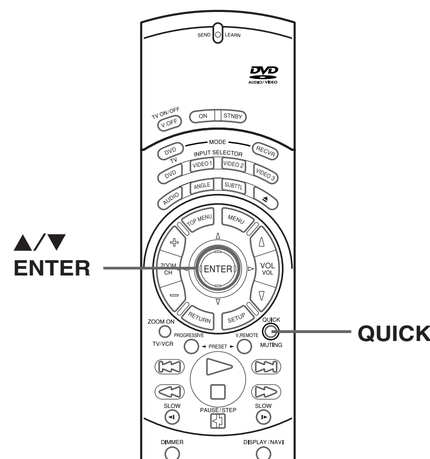
V.REMOTE（ヴィ・リモート）を押す

お知らせ

ディスクによっては、はたらかないことがあります。

再生モードを切り換える
— QUICK —

選択可能な再生モードを一覧表示します。切り換えもその上で簡単にできます。



DVD-V DVD-A VCD CD

再生モードを切り換える

1 再生中に、QUICK(クイック)を押す

以下のような画面表示がでます。
（実際の表示内容は、状態によって異なります。）

例：DVD-V

Quick
メモリー
メモリーリスト
リピート
ランダム
ビットレート
Text
終了

2 ▲/▼ を押して項目を選び、ENTER(エンター)を押す

例：リピート再生モードを切り換える

Quick
メモリー
メモリーリスト
リピート
ランダム
ビットレート
Text
終了

（設定 A）
チャプター
タイトル
オール

3 ▲/▼ を押して内容を変更する

例：チャプターリピートにする

Quick
メモリー
メモリーリスト
リピート
ランダム
ビットレート
Text
終了

（設定 A）
チャプター
タイトル
オール

4 ENTER(エンター)を押す

画面表示が消え、選んだモードで再生します。

■ 『Quick（クイック）』の項目

詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

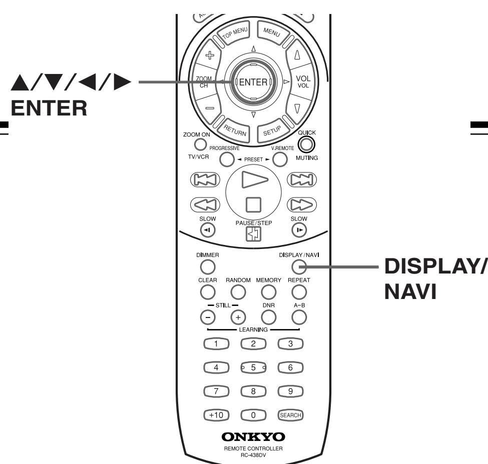
メモリー： メモリー再生の番号を入力します。［30］
メモリーリスト： メモリー再生の設定内容を表示します。［30］
リピート： リピート再生モードを選びます。［29］
ランダム： ランダム再生モードを選びます。［31］
ビットレート： ビットレート表示を入/切します。［40］
Text： テキスト表示を入/切します。
テキスト表示：
ディスクにDVDテキストまたはCDテキストが記録されていれば表示します。
DVDオーディオでは、アルバムテキストが記録されていればアルバムテキストを表示します。トラックテキストは表示されません。
（ディスクによっては、内容の一部が正しく表示されないことがあります。）
終了： 画面表示を消します。

お知らせ

画面表示はQUICKを押しても消えます。

使いたい機能へジャンプする ― NAVI ―

ナビ画面に並んだアイコンから、使いたい機能がすばやく呼び出せます。



DVD-V

ナビ画面と各機能

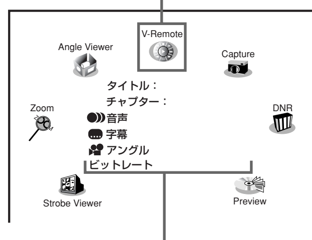
1



DISPLAY/NAVI（ディスプレイ／ナビ）を押す

ナビ画面が表示されます。

アイコン



DISPLAY/NAVIを押すたびに表示が変わります。

タイトル／チャプター：	タイトル（チャプター）内の経過時間と残り時間
音声：	現在の音声設定
字幕：	現在の字幕設定
アングル：	現在のアングル設定
ビットレート：	データ通信レート 1秒間に送られるDVDビデオの画像、音声、字幕の情報量 数字が大きいほど処理される情報量は増えますが、必ずしも画質がよくなるとは限りません。

情況表示（再生モード、現在のDNR設定、ズーム設定など）

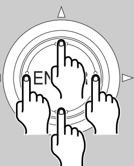
DVDオーディオでは、ディスクに記録されている音声方式（サンプリング周波数およびビット数）と、対応するスピーカーが以下の略号で表示される場合があります。

C (mono)
音声はモノラル音声です。

L、R(L:左チャンネル、R:右チャンネル)
音声は2チャンネル音声です。

Lf、Rf、C、LFE、S、Ls、Rs(Lf:左フロント、Rf:右フロント、C:センター、LFE:サブウーファー、S:サラウンド、Ls:左サラウンド、Rs:右サラウンド)
音声はマルチチャンネル音声です。

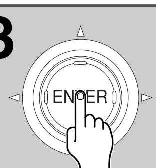
2



▲/▼/◀/▶ を押してアイコンを選ぶ

機能の内容については右の表をご覧ください。

3



ENTER（エンター）を押す

選んだ機能の画面表示が出ます。

4

次ページの表に示したそれぞれのページの説明にしたがって操作する

お知らせ

- ナビ画面を消すにはDISPLAY/NAVIを繰り返し押します。
- ディスクによって、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- アイコンが選べるのは、DVDビデオ使用時です。

■ ナビ画面で選べる機能

V-Remote



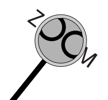
画面上に表示させたリモコンで操作ができます。 [38]

Angle Viewer

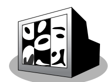


記録されているアングルを全部一度に表示して、その中から見たいアングルが選べます。 [41]

Zoom

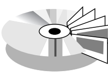


画面を拡大できます。 [32]



Strobe Viewer

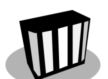
好きな場面をコマ割りにして並べて見られます。 [41]



Preview

タイトルやチャプターの各冒頭場面を一覧して、見たいところが頭出しできます。 [42]

DNR



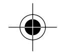
ノイズの少ない画面で再生できます。 [42]

Capture

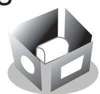


好きな場面を本機に記憶させて、背景に使用できます。 [43]

DV-S939(J)p38-45_J653　40　00.9.23, 1:40 PM

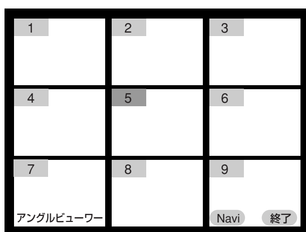

Angle Viewer



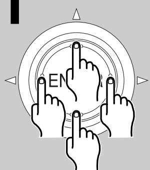
記憶されているアングルを全部一度に表示して、その中から見たいアングルが選べます。

このアイコンを選んでENTERを押すと、以下のような画面表示が出ます。

例

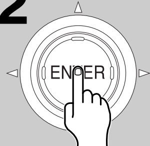


9つのアングルで記憶されている場面の場合

1 

▲/▼/◀/▶ を押して選ぶ

1-9： 選んだアングルで再生します。
Navi： ナビ画面に戻ります。
終了： 画面表示を消します。

2 

ENTER（エンター）を押す

お知らせ

ディスクの種類やシーンによっては、はたらかないことがあります。

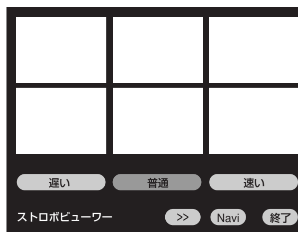
Strobe Viewer

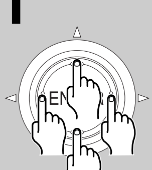


好きな場面をコマ割りにして並べて見られます。

このアイコンを選んでENTERを押すと、以下のような画面表示が出ます。

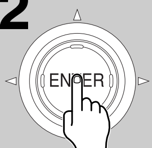
例



1 

▲/▼/◀/▶ を押して選ぶ

遅い： 短い間隔でコマ割します。
普通： 標準の間隔です。
速い： 長めの間隔でコマ割します。
>>： 次の場面をコマ割します。
Navi： ナビ画面に戻ります。
終了： 画面表示を消します。

2 

ENTER（エンター）を押す

お知らせ

ディスクの種類やシーンによっては、はたらかないことがあります。

DV-S939(J)p38-45_J653 41 00.9.23, 1:40 PM

使いたい機能へジャンプする— NAVI —

ナビ画面と各機能

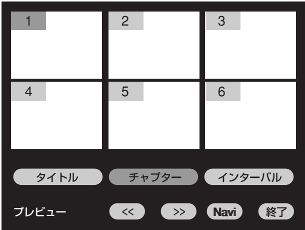


Preview

タイトルやチャプターの各冒頭場面を一覧表示して、見たいところが頭出しできます。

このアイコンを選んでENTERを押すと、以下のような画面表示が出ます。

例



1 **▲/▼/◀/▶ を押して選ぶ**

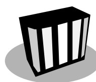
1-6：	選んだ場面を頭出しします。
タイトル：	タイトル1からタイトル6までの各冒頭場面を表示します。
チャプター：	チャプター1からチャプター6までの各冒頭場面を表示します。
インターバル：	約10分おきの各場面を表示します。
<<：	前画面へ戻ります。
>>：	次画面へ進みます。
Navi：	ナビ画面に戻ります。
終了：	画面表示を消します。

2 **ENTER（エンター）を押す**

お知らせ

- ディスクの種類やシーンによっては、はたらかないことがあります。
- ディスクの種類やシーンによっては選択できない項目があります。
- ディスクによっては冒頭部分が表示されないタイトルやチャプターがあります。

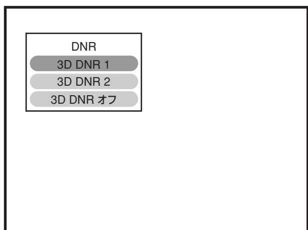
DNR



ノイズの少ない画面で再生できます。

このアイコンを選んでENTERを押すと、以下のような画面表示が出ます。

例



1 **▲/▼ を押して選ぶ**

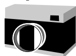
3D DNR 1：	3D DNR効果が働きます。
3D DNR 2：	さらに3D DNR効果が強まります。
3D DNR オフ：	3D DNR効果は働きません。

2 **ENTER（エンター）を押す**

お知らせ

内容についての詳細は33ページをご覧ください。

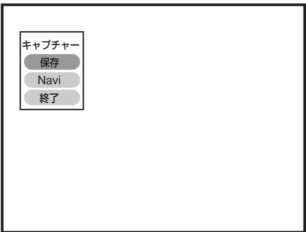
Capture



好きな場面を本機に記憶させて、背景に使用できます。

このアイコンを選んでENTERを押すと、以下のような画面表示が出ます。

例



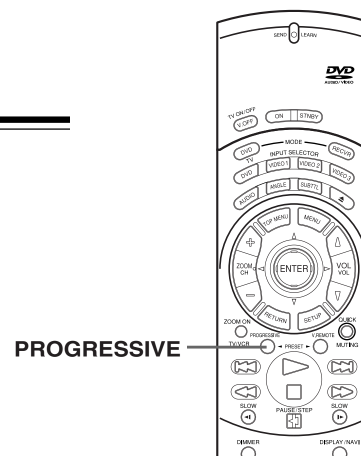
1	**保存したい場面で再生を一時停止する**
2	**▲/▼ を押して選ぶ** **保存：** 現在の静止画を本機に保存します。 **Navi：** ナビ画面に戻ります。 **終了：** 画面表示を消します。
3	**ENTER（エンター）を押す** 保存した静止画は、背景として使用できます。使用するには設定が必要です。（☞53ページ）

お知らせ

- 保存できる画像は1つです。新しく保存すると前の映像は消えます。
- 保存中は他の操作はできません。

プログレッシブスキャン方式を選ぶ

本機はプログレッシブスキャン方式に対応しています。
プログレッシブスキャン方式とは、従来の映像信号に用いられてきたインターレース方式に比べ画面走査数が倍となるため、より高品質な画像をお楽しみいただけます。



DVD-V

プログレッシブスキャンを選ぶ



リモコンのPROGRESSIVE（プログレッシブ）を押す

本体の PROGRESSIVE表示が点灯します。
プログレッシブスキャンを停止するには、PROGRESSIVE表示が消灯するまでPROGRESSIVEを押します。

お知らせ

プログレッシブスキャン方式に対応できるテレビまたはモニターのコンポーネント映像入力端子に接続しておくことが必要です。

本機を音声の再生専用に使う

映像信号の処理を一時的に切っておくことで、より良い音質での再生ができます。（このときには、映像出力端子すべてから映像信号が出力されません。）

V.OFF

VIDEO CIRCUIT OFF

DVD-V DVD-A VCD CD

音声信号のみ再生する

本体

VIDEO CIRCUIT OFF

リモコン

V.OFF

本体のVIDEO CIRCUIT（ビデオサーキットオフ） OFFまたはリモコンのV.OFF（ヴイ・オフ）を繰り返し押す

VIDEO OFF表示が点灯し、本機は音声再生専用となります。

映像と音声を両方再生するには、もう一度VIDEO CIECUIT OFFまたはV.OFFを押します。

お知らせ

- ディスクによっては、画面上の操作が必要な場合があります。そのときは、VIDEO OFF表示を消灯させて、映像が再生できるようにしてから画面上で操作してください。
- 本体の電源を切ると、この機能の設定は解除されます。

機能設定メニューを確認／変更する

ディスクを本機にセットしたときに、いろいろな再生機能がこの機能設定メニューによってセット（リセット）されます。機能設定メニューの内容は、お好みで変更することができます。



DVD-V DVD-A VCD CD

設定変更のしかた

1 SETUP（セットアップ）を押す

メニューがテレビ画面に表示されます。

画像
TV画面形状 4:3 LB
アンダーブラック オフ
インターレース画質設定 1
プログレッシブ画質設定 1
プログレッシブ4:3出力 フル
プログレッシブ変換 自動

各カテゴリーのシンボルマーク

2 ◀/▶ を押してカテゴリーを選ぶ

「画像」に関する設定のグループです。

「音声」に関する設定のグループです。

「言語」に関する設定のグループです。

「画面表示」に関する設定のグループです。

「操作」に関する設定のグループです。

使いはじめに行う設定のグループです。

3 ▲/▼ を押して項目を選び、ENTER（エンター）を押して確定する

例：手順2で『画像』を選び、項目で『TV画面形状』を選んだとき

画像
TV画面形状 4:3 LB
アンダーブラック オフ
インターレース画質設定 1
プログレッシブ画質設定 1
プログレッシブ4:3出力 フル
プログレッシブ変換 自動

4:3 レターボックス
4:3 ノーマル
16:9 ワイド

4 ▲/▼ を押して設定を選び、ENTER（エンター）を押して確定する

例：『TV画面形状』の設定で、『16:9 ワイド』を選んだとき

画像
TV画面形状 4:3 LB
アンダーブラック オフ
インターレース画質設定 1
プログレッシブ画質設定 1
プログレッシブ4:3出力 フル
プログレッシブ変換 自動

4:3 レターボックス
4:3 ノーマル
16:9 ワイド

5 選んだ項目や設定によっては、さらに設定手順が続く場合があります。48ページ以降の各項目の説明にしたがってください。

6
- 同じカテゴリーの他の項目設定をするときは、手順3～4を繰り返す
- 他のカテゴリーの項目設定をするときは、手順2～4を繰り返す

7 メニュー表示を消すときは、SETUP（セットアップ）を押す

■ 1つ前の画面に戻るには



RETURN（リターン）を押す

お知らせ

- 機能設定画面はSETUP（セットアップ）を押すと消えます。
- 再生中でもSETUP（セットアップ）は働きます。ただし操作を受け付けられない場合もありますので、その旨のメッセージが表示されたら、再生を止め、もう一度SETUP（セットアップ）を押してください。

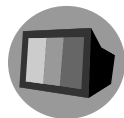
カテゴリーと項目一覧

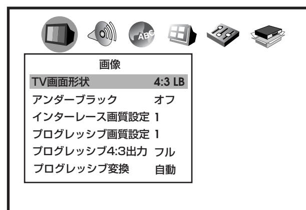
項目	関連ディスク※	設定内容	ページ
TV画面形状	DVD-V	接続したテレビの画面形状を設定します。	48
アンダーブラック	DVD-V VCD	調整信号が記録されている市販の専用ディスクを再生して、接続しているテレビの黒レベルを調整するときに選びます。	48
インターレース画質設定	DVD-V VCD	画質を調整します。	48
プログレッシブ画質設定	DVD-V VCD	画質を調整します。(プログレッシブ方式のテレビ接続しているとき。)	49
プログレッシブ4:3出力	DVD-V VCD	4:3の画面形状で記録された映像を見るときの、ビデオ出力のしかたを設定します。(プログレッシブ方式のテレビ接続しているとき。)	49
プログレッシブ変換	DVD-V	再生する素材に合わせて、出力時の変換方式を設定します。(プログレッシブ方式のテレビ接続しているとき。)	49
音声出力設定	DVD-V DVD-A VCD CD	音声を出力端子から出力するときの、音声変換の方式を選びます。	50
Dレンジコントロール	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	51
カラオケボーカル	DVD-V	DVDカラオケディスクを再生するときに、ボーカル(歌声)を出力するかどうかを設定します。	51
画面表示言語	DVD-V DVD-A VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	52
ディスクメニュー言語	DVD-V	ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。	52
音声言語	DVD-V	音声言語を選びます。	52
字幕言語	DVD-V	字幕言語を選びます。	53
画面表示	DVD-V DVD-A VCD CD	本機の動作状態を画面に表示するかどうかを設定します。	53
背景	DVD-V DVD-A VCD CD	設定画面などの背景の色を設定します。	53
スクリーン・セーバー	DVD-V	スクリーン・セーバー(画面焼き付け防止機能)を働かせるかどうかを設定します。	53
静止画	DVD-V	一時停止させた時の画像の解像度を設定します。	54
パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	54
リモコン確認音	DVD-V DVD-A VCD CD	本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。	55
タイトル/グループ停止	DVD-V DVD-A	1つのタイトル/グループが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。	55
PBC	VCD	ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面再生をするかどうかを設定します。	55
優先再生	DVD-V DVD-A	DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号のどちらを優先して再生するかを設定します。	55
画面表示言語 TV画面形状 音声出力設定	DVD-V DVD-A VCD CD	使いはじめに必要な機能を設定します。	56

※ 映像が記録されているDVDオーディオなどのとき、DVD-V マークのついている機能が働く場合もあります。

機能設定メニューを確認／変更する

画像関係の設定

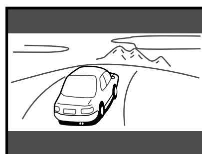




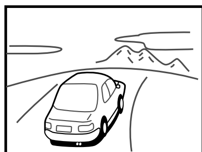
TV画面形状

DVD-V

4:3 レターボックス： 従来の4:3テレビを接続しているときに選びます。
テレビ画面に対して横長に表示します。



4:3 ノーマル： 従来の4:3テレビを接続しているときに選びます。
デレビ画面全体に再生画面を表示します。画面の片側または両側の画像部分がカットされます。



16:9 ワイド： 16:9ワイドテレビを本機に接続しているときに選びます。

お知らせ

- DVDビデオには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。その場合、ここで選んだ画面形状通りに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオは、ここで選んだ画面形状にかかわらず、4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で『16:9 ワイド』を選ぶと、再生画面に水平方向の歪みや縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

アンダーブラック

DVD-V VCD

オン： 通常の設定です。

オフ： 調整信号が記録されている市販の専用ディスクを再生して、接続しているテレビの黒レベルを調整するときに選びます。

お知らせ

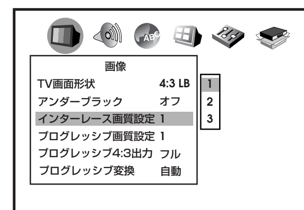
ディスクによって『オン』に設定すると、再生された画像が歪む場合があります。このようは場合は『オフ』に設定してください。

インターレース画質設定

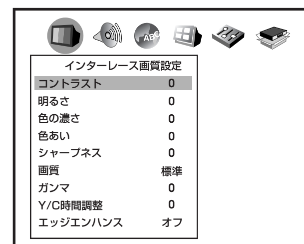
DVD-V VCD

調整した画質の設定を3種類まで記憶できます。

1) ▲/▼ を押して記憶する番号（1〜3）を選び、ENTERを押す



2) ▲/▼ を押して調整する項目を選び、ENTERを押す



3) ◀/▶ を押して値を調整し、ENTERを押す

（−7）淡くなる	コントラスト	濃くなる（+7）
（−7）暗くなる	明るさ	明るくなる（+7）
（−7）薄くなる	色の濃さ	濃くなる（+7）
（−7）赤色が強くなる	色あい	緑色が強くなる（+7）
（−7）ソフトになる	シャープネス	鮮明になる（+7）
標準	画質	明るい
（−）	ガンマ*1	（+）
（−3）	Y/C時間調整*2	（+3）
オフ	エッジエンハンス*3	オン

*1：暗い画面で動作が見えないときや、画面全体が白くなってしまっているときに調整します。
*2：水平方向の色ズレを修正します。調整時には画面が左右に多少動くことがあります。
*3：輪郭を強調します。

お知らせ

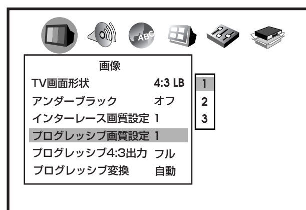
- プログレッシブ方式のテレビに接続しているときは、これらの調整はできません。
- コンポーネント映像出力端子（Y、CB/PB、CR/PR）でテレビと接続しているときは、「色あい」の調整はできません。

プログレッシブ画質設定

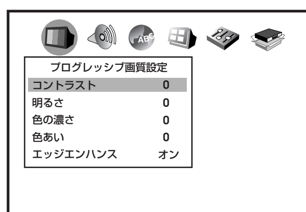


調整した画質の設定を3種類まで記憶できます。（プログレッシブ方式のテレビに接続しているとき。）

1) ▲/▼ を押して記憶する番号（1〜3）を選び、ENTERを押す



2) ▲/▼ を押して調整する項目を選び、ENTERを押す



3) ◀/▶ を押して値を調整し、ENTERを押す

（−7）淡くなる	コントラスト	濃くなる（+7）
（0）暗くなる	明るさ	明るくなる（+7）
（−7）薄くなる	色の濃さ	濃くなる（+7）
（−7）赤色が強くなる	色あい	緑色が強くなる（+7）
（オフ）	エッジエンハンス*	（3）

* 数字が大きくなるごとに輪郭を強調します。

プログレッシブ4:3出力



プログレッシブ方式のテレビに本機を接続し、4:3の画面形状で記録されたディスクを再生するときに設定します。

4:3： 4:3の画面比率で映像を出力します。このとき画面の左右に黒帯が出ます。

フル： 水平方向に横のびした映像で、16:9画面いっぱいに出力します。

プログレッシブ変換



DVDビデオの記録内容には、一般的にフィルム素材（フィルム映像を24コマ/秒で記録）とビデオ素材（映像情報を30コマ/秒で記録）の2種類があります。再生する記録内容の種類に合わせて設定します。

自動： 通常の設定です。記録内容の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

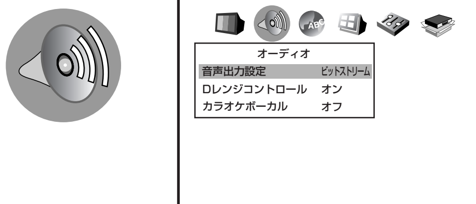
ビデオ： 記録内容をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。ビデオ素材のディスクの再生に適しています。

フィルム： フィルム素材の記録内容を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。フィルム素材のディスクの再生に適しており、プログレッシブ出力のメリットを十分に生かせます。

お知らせ

ディスクによっては、画面が途切れたり、映像が二重にぶれて見えることがあります。このときには『ビデオ』に設定してください。

音声関係の設定



音声出力設定

DVD-V DVD-A VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については、「出力される音声の種類」（☞37ページ）を参照してください。

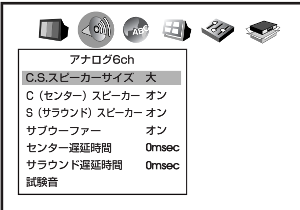
ビットストリーム： ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。（☞15ページ）
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ 6ch： 5.1ch音声入力端子付きアンプを本機に接続しているとき。
「『アナログ6ch』を選んだとき：」の手順にしたがって、設定を行ってください。

アナログ 2ch： テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。（☞14ページ）

PCM： 2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。（☞15ページ）
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオを再生すると、PCM(2ch)に音声を変換して出力します。

『アナログ6ch』を選んだとき：
内蔵デコーダーの設定をします。



1) ▲/▼ を押して設定する方向を選び、ENTERを押す
2) 以下を参照して ▲/▼/◀/▶ を押して設定し、ENTERを押す

C.S. スピーカーサイズ
小：センターもしくはサラウンドスピーカーが、120Hz以下の低周波数の再生能力がないとき。
大：センターとサラウンドスピーカーが、120Hz以下の低周波数の再生能力があるとき。

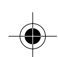
C（センター）スピーカー
オフ：センタースピーカーを接続していないとき。
オン：センタースピーカーを接続しているとき。

S（サラウンド）スピーカー
オフ：サラウンドスピーカーを接続していないとき。
オン：サラウンドスピーカーを接続しているとき。

サブウーファー
オフ：サブウーファーを接続していないとき。
オン：サブウーファーを接続しているとき。

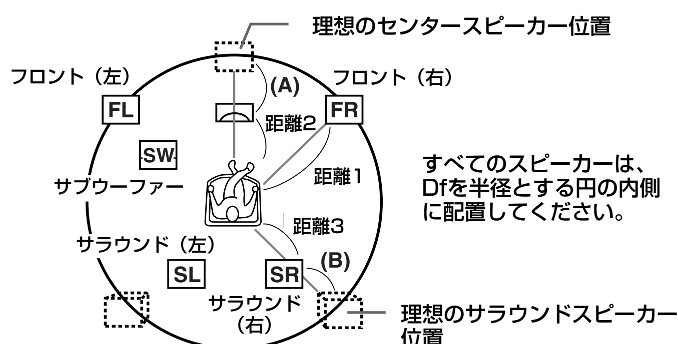
お知らせ

DVDオーディオの音声によっては、これらスピーカーの設定にかかわらず、ディスクに記録されているチャンネル数そのままで出力します。


遅延時間の調節について

5.1チャンネルサラウンドをお楽しみになるときは、視聴位置は、すべてのスピーカーとの距離が等しいことが理想とされます。センター／サラウンドスピーカーに遅延時間を設定することによって、仮想的に理想の視聴位置を作り出すことができます。（センター／サラウンドスピーカーを図の点線の位置に配置したように設定できます。）



センター遅延時間

0msec: 距離1と距離2が等しいとき。
1msec: (A) が約34cmのとき。
2msec: (A) が約68cmのとき。
3msec: (A) が約102cmのとき。
*(A) = 距離1－距離2
設定値（0、1、2...5）は、(A)を34で割って算出します。

サラウンド遅延時間

0msec: 距離1と距離3が等しいとき。
1msec: (B) が約34cmのとき。
2msec: (B) が約68cmのとき。
3msec: (B) が約102cmのとき。
*(B) = 距離1－距離3
設定値（0、1、2...15）は、(B)を34で割って算出します。

3) 『試験音』を選び、ENTERを押す
停止中は、本機からそれぞれのスピーカーへテスト信号を出力します。（DVDビデオ再生中は、再生音が出力されます。）
◀/▶ を押してスピーカーを切り換えながら、▲/▼ を押して、どのスピーカーからも同じ音量で聞こえるように、調節してください。
本機で調整しきれないときは、アンプ側のチャンネルバランスを調節してください。
調節が終わったら、もう一度ENTERを押して試験音をオフにします。

お知らせ

ディスクによっては、MULTI CHANNEL OUTPUT端子またはANALOG OUTPUT端子から6チャンネルで出力されない場合があります。

D（ディー）レンジコントロール



D（ディー）レンジ： ダイナミックレンジ
オフ： D（ディー）レンジコントロール機能が働きません。
オン： D（ディー）レンジコントロール機能が働きます。

お知らせ

- 本機能はDOLBY DIGITAL（ドルビー デジタル）サラウンド音声で記録されたディスクにのみはたらきます。
- D（ディー）レンジコントロールによる効果はディスクによって差があります。

カラオケボーカル



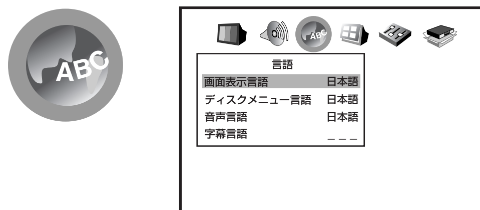
オフ： ボーカル（歌声）を出力しません。
オン： ディスクに記録されているボーカル（歌声）を出力します。

お知らせ

- この機能は、DOLBY DIGITAL（ドルビー デジタル）マルチチャンネルで記録されたDVDカラオケディスクのみにはたらきます。
- この機能を使用するには、本機をドルビーデジタルデコーダーが備わっているアンプに接続する必要があります。

機能設定メニューを確認／変更する

言語関係の設定



画面表示言語

DVD-V DVD-A VCD CD

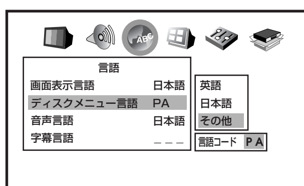
● **英語：** 英語で画面表示をします。
● **日本語：** 日本語で画面表示をします。

ディスクメニュー言語

DVD-V

● **英語：** 英語でディスクメニューを表示します。
● **日本語：** 日本語でディスクメニューを表示します。
● **その他：** ディスクメニューを表示する言語を選ぶことができます。
ENTERを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1)「言語コード表」（☞57ページ）で、希望の言語のコードを確認する。
2) ▲/▼ を押して、コードの第1字を選ぶ
3) ◀/▶ を押してカーソルを移動させ、▲/▼ を押して、コードの第2字を選ぶ



4) ENTERを押す

お知らせ

言語を選んでも選んだ言語がディスクに含まれていないときは、ディスクによって決められた初期言語でディスクメニューが表示されます。

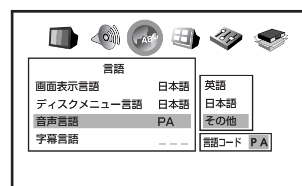
音声言語

DVD-V

音声言語を、以下から選びます。

● **英語：** 英語で音声を再生します。
● **日本語：** 日本語で音声を再生します。
● **その他：** 音声を再生する言語を選ぶことができます。
ENTERを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1)「言語コード表」（☞57ページ）で、希望の言語のコードを確認する
2) ▲/▼ を押して、コードの第1字を選ぶ
3) ◀/▶ を押してカーソルを移動させ、▲/▼ を押して、コードの第2字を選ぶ

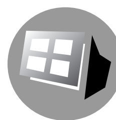


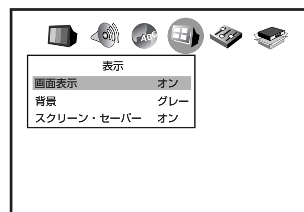
4) ENTERを押す

お知らせ

言語を選んでも、ディスクによっては、ディスクで決められた初期言語で音声が出力されます。

表示関係の設定





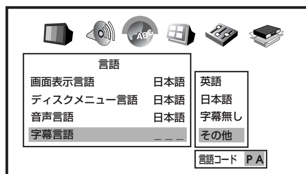
字幕言語

DVD-V

音声言語を、以下から選びます。

- **英語：** 英語で字幕を表示します。
- **日本語：** 日本語で字幕を表示します。
- **字幕無し：** 字幕を表示しません。
- **その他：** 字幕を表示する言語を選ぶことができます。ENTERを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」（☞57ページ）で、希望の言語のコードを確認する
2) ▲/▼ を押して、コードの第1字を選ぶ
3) ◀/▶ を押してカーソルを移動させ、▲/▼ を押して、コードの第2字を選ぶ



4) ENTERを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められた初期言語で字幕が表示されます。
- ディスクによっては字幕言語をディスクメニューからしか変更できないことがあります。この場合は、MENU（メニュー）を押してディスクメニューを表示させて字幕言語を選んでください。

画面表示

DVD-V DVD-A VCD CD

オフ： 動作状態表示を画面に出しません。
オン： 『再生』、『🎥』など、動作状態を表わす表示を画面に出します。

背景色

DVD-V DVD-A VCD CD

ブルー： 背景を青色にします。
グレー： 背景を灰色にします。
キャプチャー： ナビ画面の「キャプチャー」アイコンでとり込んだ静止画が背景になります。（☞43ページ）
ジャケット： ディスクに記録されているジャケットピクチャーが背景になります。記録されていないときは、自動的に灰色（グレー）になります。

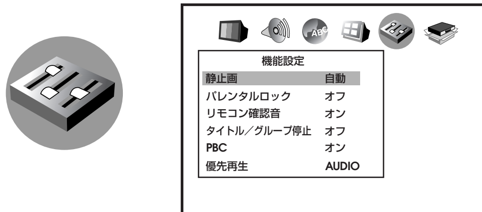
スクリーン・セーバー

DVD-V

オフ： スクリーン・セーバーは働きません。
オン： スクリーン・セーバーが働きます。

機能設定メニューを確認／変更する

操作関係の設定



静止画

DVD-V

自動： 通常の設定です。動きのある画像でも、ぶれずに一時停止します。

フレーム： 動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

パレンタルロック

DVD-V

パレンタルロックに対応したDVDビデオには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容、および規制方法はディスクによって異なります。
例えば、ディスク全体が再生できないようになっていたり、過激な暴力シーンをカットしたり、また、そのようなシーンを別のシーンに自動的に差し替えて再生したりするなどの規制方法があります。

お知らせ

DVDビデオによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能がはたらくことを確認してからご使用ください。

オフ： パレンタルロックは働きません。
ENTERを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

オン： パレンタルロックの機能を働かせたり、設定内容を変えるときに選びます。
ENTERを押したあとで、以下の手順1)～3)を行ってください。



1) 数字ボタンを押して4桁の暗証番号を入力し、ENTERを押して確定する
番号を入れ直すときは、ENTERを押す前にCLEARを押して4桁の数字を入力し直します。

2) 下の表を参照して、設定したい規制レベルの地区のコードを入力する

地区	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
香港	HK
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

a) ▲/▼ を押してコードの第1字を選ぶ
b) ◀/▶ を押してカーソルを移動させ、▲/▼ を押してコードの第2字を選ぶ
c) ENTERを押す

3) ▲/▼ を押して設定したい規制レベルを選び、ENTERを押す

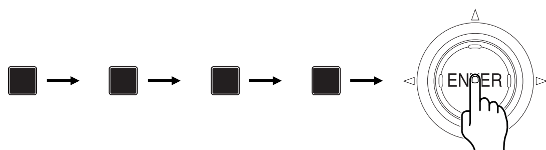


選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを『オフ』にしないかぎり、再生できなくなります。
例えば、レベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ、再生できなくなります。
『JP』（日本）を選んだ場合のレベル設定は、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオを動作させてお確かめください。
『US』（アメリカ）を選んだときの規制レベルは次のように対応しています。

レベル7：NC-17
レベル6：R
レベル4：PG 13
レベル3：PG
レベル1：G

■ パレンタルロックの暗証番号を変えるときは

1) 「オン」「オフ」を選んだあとで、■ を4回押してから、ENTERを押す
暗証番号が解除されます。



2) 数字ボタンで新たな4桁の暗証番号を入力する
3) ENTERを押す

リモコン確認音



オフ： ブザー音は鳴りません。
オン： ブザー音が鳴ります。

タイトル／グループ停止



オフ： 1つのタイトル／グループが終わっても再生を続けます。
オン： 1つのタイトル／グループが終わったら、再生を停止します。

PBC



オフ： PCB付のビデオCDのメニュー画面を使わず、普通の再生をするときに選びます。
オン： PCB付のビデオCDのメニュー画面を使って再生するときに選びます。

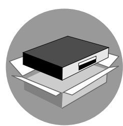
優先再生

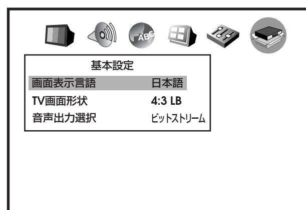


DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号の両方が1枚のディスクに記録されているときに、どちらの信号を優先して再生するかを設定します。
DVD-AUDIO： DVDオーディオの信号を優先して再生します。
DVD-VIDEO： DVDビデオの信号を優先して再生します。

機能設定メニューを確認／変更する

使いはじめに行う設定

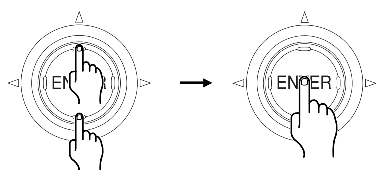




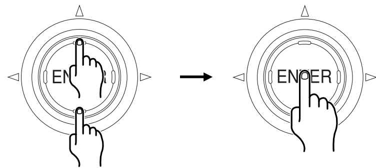
基本設定

DVD-V DVD-A VCD CD

1) ▲/▼ を押して『画面表示言語』を選び、ENTERを押す

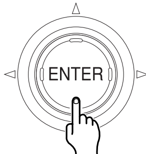


2) ▲/▼ を押して言語を選び、ENTERを押す

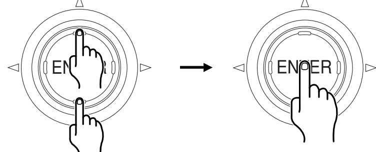


詳しくは「画面表示言語」（☞52ページ）をご覧ください。

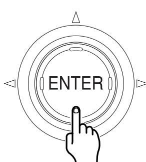
3) ▼ を押して『TV画面形状』を選び、ENTERを押す



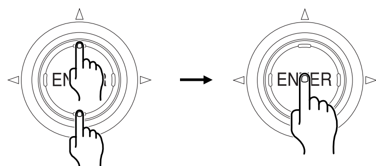
4) ▲/▼ を押して画面形状の比率を選び、ENTERを押す
詳しくは「TV画面形状」（☞48ページ）をご覧ください。



5) ▼ を押して『音声出力設定』を選び、ENTERを押す



6) ▲/▼ を押して音声出力を選び、ENTERを押す
詳しくは「音声出力設定」（☞50ページ）をご覧ください。



7) SETUPを押す

言語コード表

言語コードと対応言語

言語コード	言語名
—	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語

言語コード	言語名
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルタビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アファン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語

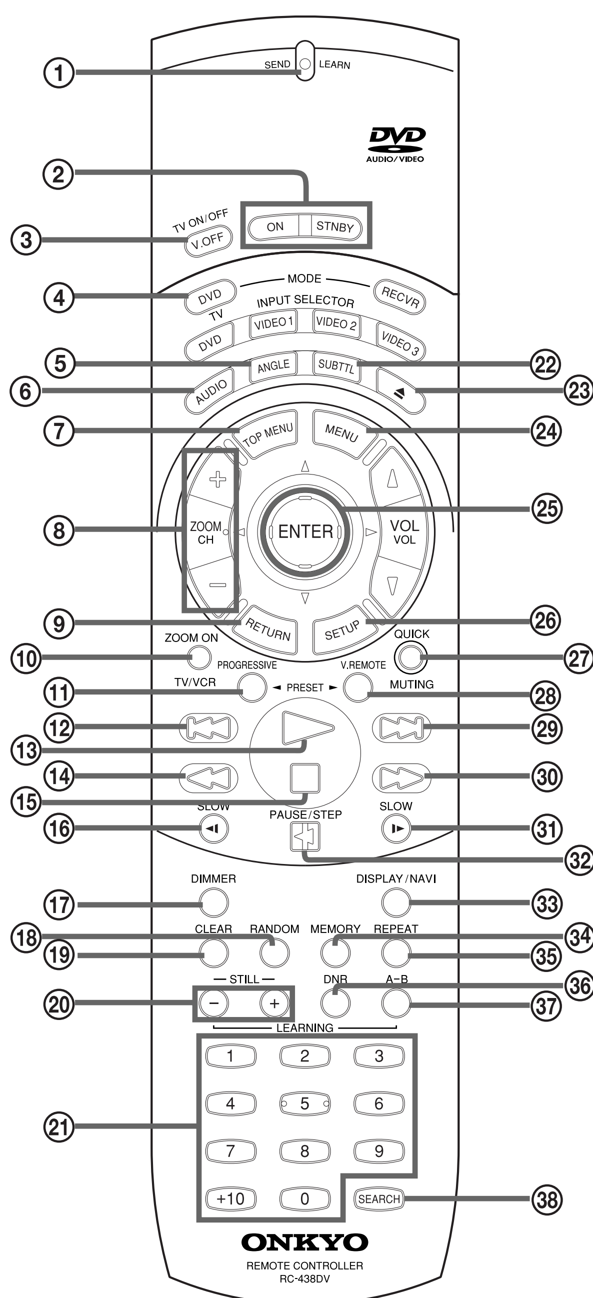
言語コード	言語名
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

リモコンを使う

本機に付属のリモコンを使って、オンキヨー製のレシーバーも操作できます。付属のリモコンは学習機能が付いているので、お手持ちの機器も操作できるように、リモコンに設定できます。

リモコンで本機を操作する

本機をリモコンで操作する前にDVD MODEを押します。各ボタン等の機能について詳しくは、（　）内に示されたページを参照してください。



① **SEND/LEARN インジケーター（☞60ページ）**
他のリモコンのコードを登録するときや制御コードの登録時、送信時に点灯・点滅します。

② **ON/STNBY ボタン（☞19ページ）**
ONを押すと本体に電源が入り、STNBYを押すとスタンバイモードになります。（STANDBYインジケーターが点灯します。）

③ **V.OFF（TV ON/OFF）ボタン（☞45ページ）**
本機を音声の再生専用に使用するときに押します。学習機能でテレビやモニターの電源をオン／オフするときにも使用します。

④ **DVD ボタン（☞60ページ）**
リモコンをDVDモードにするときに押します。DVDプレーヤーを操作できます。

⑤ **ANGLE ボタン（☞34ページ）**
マルチアングルで記録されているDVDビデオを再生する場合、ディスクに記録されているカメラアングルを選択するときに押します。

⑥ **AUDIO ボタン（☞36ページ）**
DVDビデオに記録された音声／言語を選択するときに押します。

⑦ **TOP MENU ボタン（☞20ページ）**
DVDオーディオ／ビデオに記録されたトップメニューを選択するときに押します。（このメニューはDVDメニューと同じです。）

⑧ **ZOOM（CH）＋/－ ボタン（☞32ページ）**
ズーム機能をオンにしたときに、画面を拡大／縮小するときに押します。

⑨ **RETURN ボタン（☞20ページ）**
1つ前のメニュー画面に戻るときに押します。

⑩ **ZOOM ON ボタン（☞32ページ）**
ズーム機能をオン／オフするときに押します。

⑪ **PROGRESSIVE ボタン（☞44ページ）**
プログレッシブスキャン方式を選択するときに押します。

⑫ **⏮（スキップバック）ボタン（☞28ページ）**
前のタイトル／グループ／チャプター／トラックの頭出しをするときに押します。

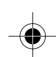
⑬ **►（再生）ボタン（☞22ページ）**
再生するときに押します。

⑭ **◄◄（早戻し）ボタン（☞24ページ）**
逆方向にサーチするときに押します。

⑮ **■（停止）ボタン（☞23ページ）**
再生を止めるときに押します。

⑯ **SLOW ◄I ボタン（☞24ページ）**
DVDを逆方向にスロー再生するときに押します。

⑰ **DIMMER ボタン（☞18ページ）**
本体表示部の明るさを調節するときに押します。（消灯を含めて4段階で調節できます。）


⑱ **RANDOM ボタン（☞31ページ）**
ランダム再生するときに押します。

⑲ **CLEAR ボタン（☞27～32ページ）**
入力した数値や設定を消去するときに押します。

⑳ **STILL +/－ボタン（☞24ページ）**
静止画が記録されているDVDオーディオ再生する際に、画像を選択するときに押します。

㉑ **数字ボタン（☞26、30ページ）**
数字を入力するときに押します。

㉒ **SUBTTL ボタン（☞35ページ）**
DVDビデオに記録された字幕言語を選択するときに押します。

㉓ **⏏ ボタン（☞23ページ）**
ディスクトレイを開／閉するときに押します。

㉔ **MENU ボタン（☞20ページ）**
DVDメニューを表示させるときに押します。

㉕ **▲/▼/◀/▶／ENTER ボタン（☞20ページ）**
画面に表示されたメニューを選択したり、決定するときに押します。

㉖ **SETUP ボタン（☞20ページ）**
設定画面を表示させるときに押します。

㉗ **QUICK ボタン（☞39ページ）**
現在の再生モードに関連した『Quick』リストを表示させるときに押します。

㉘ **V.REMOTE ボタン（☞38ページ）**
バーチャルリモコンを画面に表示させるときに押します。

㉙ **▶▶I（スキップフォーワド）ボタン（☞28ページ）**
後のタイトル／グループ／チャプター／トラックの頭出しをするときに押します。

㉚ **▶▶（早送り）ボタン（☞24ページ）**
正方向にサーチするときに押します。

㉛ **SLOW I▶ ボタン（☞24ページ）**
DVDやビデオCDを正方向にスロー再生するときに押します。

㉜ **PAUSE/STEP ボタン（☞23ページ）**
再生を一時停止するときに押します。また、コマ送り再生で1コマずつ静止画を再生するときに押します。

㉝ **DISPLAY/NAVI ボタン（☞40ページ）**
表示を切り替えたり、ナビ画面を表示させるときに押します。

㉞ **MEMORY ボタン（☞30ページ）**
好みの順にタイトル／チャプター／トラックを再生するときに押します。

㉟ **REPEAT ボタン（☞29ページ）**
リピート再生するときに押します。

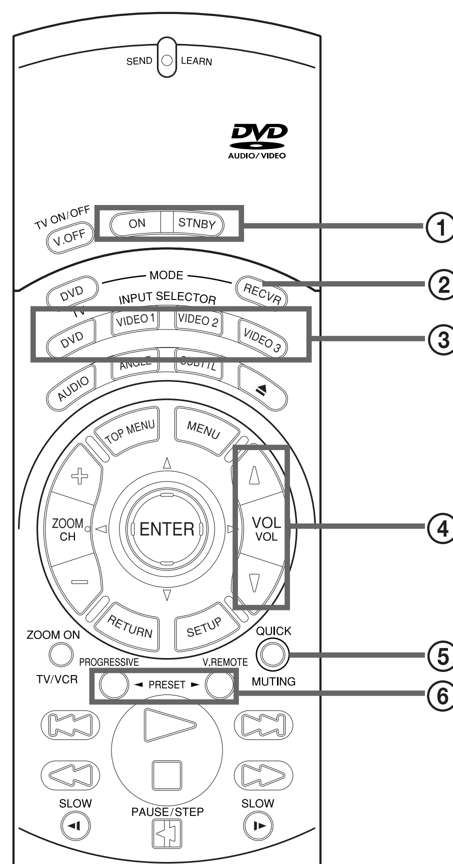
㊱ **DNR ボタン（☞33ページ）**
ノイズの少ない映像を見たいときに押します。

㊲ **A-B ボタン（☞29ページ）**
ディスクの一部分を繰り返し再生したいときに押します。

㊳ **SEARCH ボタン（☞27ページ）**
再生を始めたい場所を探すときに押します。

オンキヨー製のレシーバーを操作する

オンキヨー製のレシーバーを本機に付属のリモコンで操作するときは、RECVR（レシーバー） MODEを押します。以下のボタンでオンキヨー製のレシーバーを操作することができます。各機能について詳しくは、レシーバーに付属の取扱説明書を参照してください。



① **ON/STANDBY ボタン**
レシーバーの電源を入れるときにONを押します。レシーバーをスタンバイにするときはSTNBYを押します。レシーバーにもよりますが、ONを押せば、レシーバーの電源オンとスタンバイを切り換えることができます。

② **RECVR ボタン**
リモコンをレシーバーの操作モードにするときに押します。このボタンを押すとオンキヨー製のレシーバーを操作できます。このボタンはDVDモードでも使用できます。

③ **入力切り換えボタン**
入力を選択するときに押します。このボタンはDVDモードでも使用できます。

④ **VOL ▲/▼ ボタン**
音量を調節するときに押します。

⑤ **MUTING ボタン**
瞬時に音声レベルを下げるときに押します。

⑥ **PRESET ◀/▶ ボタン**
レシーバーのチューナーを使用する場合、プリセットした放送局を選局するときに押します。

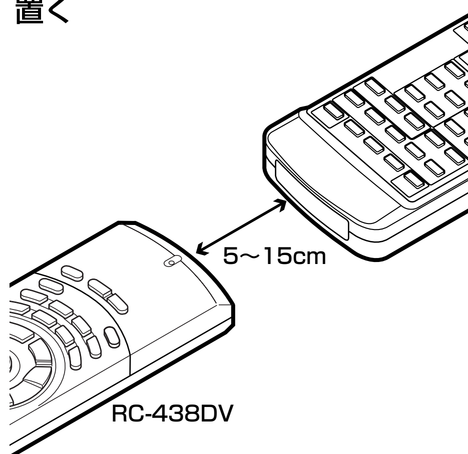
他の機器のリモコン信号を記憶させる

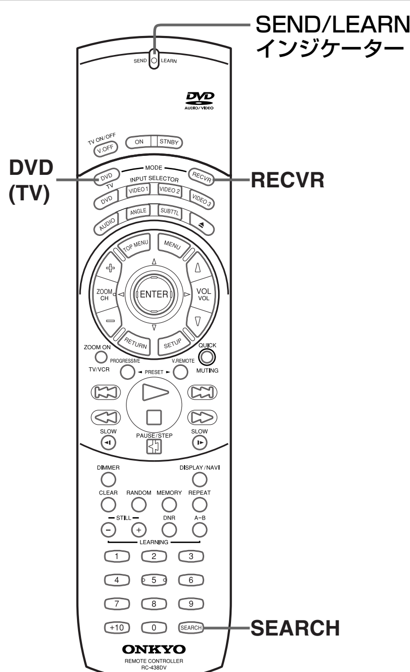
本機のリモコンには学習機能が付いています。他の機器のリモコン信号を記憶させ、他の機器も本機に付属のリモコンで操作できます。リモコンはDVDモードでもレシーバーモードでも記憶させることができます。

学習のさせ方

他の機器のリモコン信号をRC-438DVリモコンに学習させる場合、まずどのMODEボタンに信号を学習させるか選択します。転送元の機器に合ったMODEボタンを選択するのが一般的です。たとえば、DVDプレーヤーのリモコン信号を学習させる場合は、DVD（TV） MODEを押します。DVD（TV） MODEを押すと、RC-438DVリモコンのボタンにテレビのリモコン信号を登録できるようになります。使用するMODEボタンが決まったら、RC-438DVリモコンのボタンにテレビのリモコン信号を1つずつ転送します。テレビの各リモコン信号は、RC-438DVリモコンのボタンに登録されます。
電池切れなど何らかの理由でリモコン信号が消えてしまった場合のために、テレビのリモコンは大切に保管しておいてください。

1 学習させたいリモコンとRC-438DVを5〜15cm離して置く





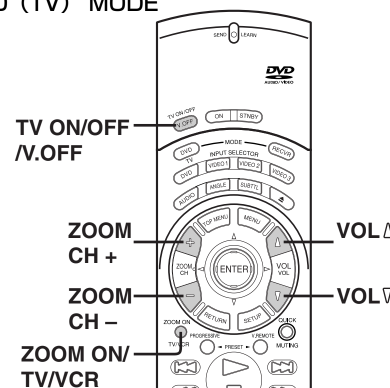
2 RC-438DVの学習させたいMODEボタン（DVDまたはRECVR）を押しながらSEARCHを押し、指を離す

MODEボタンを押し続けると、SEND/LEARNインジケーターが点灯し、SEARCHを押すと消灯します。指を離すとSEND/LEARNインジケーターが再度点灯します。

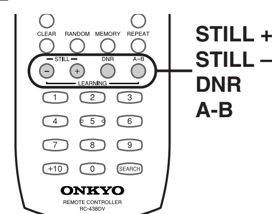
3 RC-438DVの学習させたい操作ボタンを押して指を離す

それぞれのMODEによって下記にグレーで示したボタンに記憶させることができます。
押すボタンを間違えたときは、その同じボタンをもう一度押してください。 SEND/LEARNインジケーターが3回点滅し、学習モード から抜けます。この場合はもう一度手順1から行ってください。

DVD（TV） MODE

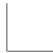


RECEIVER MODE



：記憶できるボタン



4

学習させたい他の機器のリモコンのボタンをSEND/LEARNインジケーターが2回点滅するまで押し続ける

SEND/LEARNインジケーターが2回点滅した後、再度点灯します。

5

同じMODE内の異なるボタンを続けて学習させる場合は、手順3〜4に戻ります

異なるMODEボタンに続けて学習させる場合は、手順2〜4に戻ります

6

学習を終了する場合は、手順2で押したのと同じMODEボタンを押す

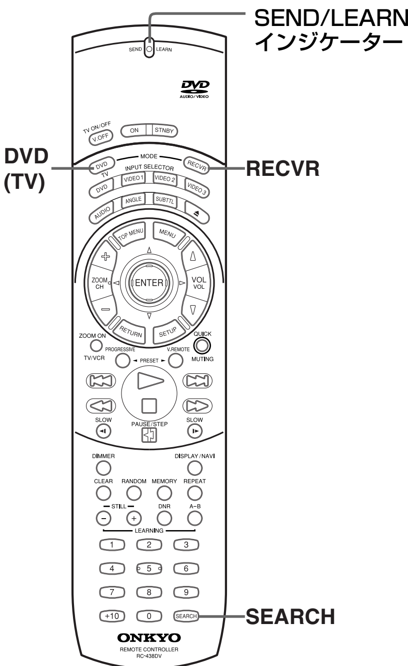
7

記憶させたボタンで動作することを確認する

お知らせ

- このリモコンには、あらかじめオンキヨー製レシーバーを操作する信号がいくつかプログラムされています（59ページ）ので、オンキヨー製レシーバーのリモコン信号を記憶させる場合は、これ以外の操作を選んで記憶させることをおすすめします。
- 30秒以上ボタン操作がない場合は、SEND/LEARNインジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。その時は手順2からやり直してください。
- 操作途中で間違った場合は、SEND/LEARNインジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。その時は手順2からやり直してください。
- あらかじめ学習されているボタンに異なる信号を上書きする場合も、上記の操作で行なうことができます。
- 本リモコンは赤外線を利用しています。ほとんどのリモコン信号は、この赤外線方式で記憶が可能です。しかし、方式の違いによって、記憶することができない場合もあります。
- リモコンによっては、ボタンを押すたびに信号が変わるなどのように、1個だけのボタンで各種のリモコン信号を送るものがあります。このようなリモコンをお使いの場合には、リモコンの各ボタンにリモコン信号を1種類ずつ記憶させてください。
- 他社製の機器の操作方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンおよび記憶させたいリモコンの電池は新しいものをお使いください。
  消耗したり寿命のなくなった電池をお使いになると記憶させることができなかったり、記憶させたボタンで機器が正常に動作しないことがあります。
- ZOOM ONまたはZOOM＋／－ボタンは、リモコンにしかない機能ですので、これらのボタンに他の機能を記憶させると、ズーム機能は使えなくなります。ズーム機能を使いたい場合は、上記ボタンに記憶させた信号を消去する必要があります。（☞62ページ）
- リモコンの電池を約10分間取り出したままにすると、リモコンに記憶させた信号は、すべて消去されます。

他の機器のリモコン信号を記憶させる



記憶させた信号を消去する

消去できるのは学習させた信号のみです。あらかじめプリセットされている信号を消すことはできません。

1 **消したいボタンのあるMODEを押しながら、SEARCHを押した後、指を離す**
指を離すと、SEND/LEARNインジケーターが点灯します。

2 **消したいボタンを押して指を離す**
ボタンを押すとSEND/LEARNインジケーターが消灯し、指を離すと再びインジケーターが点灯します。

3 **消したいボタンをもう一度押して指を離す**
SEND/LEARNインジケーターが2回点滅します。これで消去が完了し、もとの状態に戻ります。

お知らせ

30秒以上ボタン操作がない場合は、SEND/LEARNインジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。この時は手順1から操作しなおしてください。

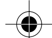
MODEボタンに記憶させた信号をすべて消去する

1 **消したいMODEボタンを押しながら、SEARCHを2回押した後、指を離す**
指を離すとSEND/LEARNインジケーターが2回ゆっくりと点滅した後、再度点灯します。

2 **もう一度消したいMODEボタンを押した後、指を離す**
指を離すとSEND/LEARNインジケーターが2回ゆっくりと点滅します。これで消去が完了し、もとの状態に戻ります。

お知らせ

- 30秒以上ボタン操作がない場合は、SEND/LEARNインジケーターが早く3回点滅した後、もとの状態に戻ります。この時は手順1からやり直してください。
- 操作を間違った場合は、SEND/LEARNインジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。その時は手順1からやり直してください。
- MODEボタンへの登録ボタンの数が多い場合は手順2でSEND/LEARNインジケーターが点灯し続けることがありますが、故障ではありません。


故障? と思ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、または66ページ記載のオンキヨーサービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（DV-S939）」と、「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
本体	● 電源が入らない。	● 電源プラグの差し込みが不完全になっている。 ● 主電源がOFFになっている。 ● 本機内蔵のコンピューターが、外部からのノイズに影響を受けた。 ● 本機内部のヒューズが飛んだ。	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● 主電源をONにしてください。 ● 一度主電源を切ってから、主電源を入れ直してください。それでも回復しない場合は、電源コードを一度抜いてから、再度コンセントに接続してください。 ● オンキヨーサービスステーションにご連絡ください。	19 19 19 66
	● ディスクの再生ができない。	● ディスクが入っていない。 ● ディスクのリージョン番号が本機に合っていない。 ● 再生できないディスクを入れた。 ● ディスクの裏表が逆になっている。 ● ディスクがディスクトレイのガイド内に収まっていない。 ● ディスクが汚れている。 ● パレンタルロックがはたらいている。	● ディスクを入れる。（入れたディスクによって、本体の表示部に『DVD』または『VCD』、『CD』の表示がでます。確認してください。 ● 本機では、リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを再生してください。 ● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● 再生面を下にしてディスクトレイに置いてください。 ● 正しいガイドの内側に置いてください。 ● ディスクを取り出して、お手入れしてください。 ● パレンタルロックを解除するか、パレンタルロックのレベルを変えてください。	22 8 8 22 22 9 54
	● 再生画像が時々乱れる。	● ディスクが汚れている。 ● 早送り、早戻しをしている。	● ディスクを取り出して、お手入れしてください。 ● 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。	9 –
	● 再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る。	● コピープロテクト（コピー防止機能）がはたらいている。	● 本機を直接テレビに接続してください。本機をカセットビデオデッキ経由で接続しないでください。	12
	● 本機で再生した映像がテレビ画面にあらわれない。	● テレビが本機を接続した入力に設定されていない。 ● 接続に問題がある。 ● 映像出力の回路がオフになっている。	● テレビの入力を、本機を接続した入力端子に対応した入力に切り換えてください。 ● 接続を点検してください。 ● 映像出力の回路をオンにする。	12 12 45
	● ディスクの再生順序で再生されない。	● リピート再生、メモリー再生、ランダム再生などが設定されている。	● 特別な再生モードを解除してください。	29～31
	● 再生しているディスクの音声が出ない。	● 『音声出力設定』と音源の音声方式が合っていない。 ● テレビが本機を接続した入力に設定されていない。 ● 接続に問題がある。	● 現在の『音声出力設定』を確認して、正しい設定にしてください。 ● テレビの入力を、本機を接続した入力端子に対応した入力に切り換えてください。 ● 接続を点検してください。	37、50 12～15
	● リモコンのボタンも、本体のボタンもはたらかない。	● 電源の電圧の変動や、静電気などによって動作がおかしくなった。	● 一度主電源を切ってから、主電源を入れ直してください。それでも回復しない場合は、電源コードを一度抜いてから、再度コンセントに接続してください。	19

故障? と思ったときは

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
リモコン	● 本体のボタンははたらくが、リモコンのボタンがはたらかない。	● リモコンに乾電池が入っていないか、電池が切れている。 ● リモコンの先が本体の受光部に向けられていない。 ● リモコンが本体から遠すぎる。	● 新しい乾電池をリモコンに入れてください。 ● リモコンの先を本体の受光部に向けて操作してください。 ● リモコンは、本体から5m以内のところで操作してください。	11 11 11
	● リモコンの学習機能がはたらかない。	● リモコン同士の距離が遠い。 ● 記憶させるモードが間違っている。 ● 正しく記憶させなかった。	● 本機のリモコンと他機のリモコンの距離は5〜15cm離してください。 ● モードを確認してください。 ● もう一度やり直してください。	60 60 60

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音・録画をするときには、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

主な仕様

■ 一般仕様

電源	AC100 V 50/60Hz
消費電力	45 W
質量	11.0 kg
外形寸法	435（幅）× 122（高さ）× 374（奥行き）mm

■ 本体部

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650/780 nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声：48 kHz サンプリング4 Hz～22 kHz 96 kHz サンプリング4 Hz～44 kHz 192 kHz サンプリング4 Hz～96 kHz
SN比（デジタル音声）	112 dB以上
ダイナミックレンジ（デジタル音声）	106 dB以上
全高調波ひずみ率（デジタル音声）	0.002 %以下
ワウ・フラッタ	測定限界［±0.001 %（W. PEAK）以下］
使用条件	温度：5 ℃～35 ℃、動作姿勢：水平

■ 端子部

映像出力	1.0 V（p-p）、75 Ω、同期負、ピンジャック × 2
S映像出力	（Y）1.0 V（p-p）、75 Ω、同期負、ミニDIN4ピン × 2 （C）0.286 V（p-p）、75 Ω
色差出力	（Y）1.0 V（p-p）、75 Ω、同期負、ピンジャック × 2 （C_B/P_B）／（C_R/P_R）0.7 V（p-p）、75 Ω、ピンジャック × 4
音声出力（光デジタル音声）	光端子 × 2
音声出力（同軸デジタル音声）	0.5 V（p-p）、75 Ω、ピンジャック × 2
音声出力（2チャンネル）	2.0 V（rms）、320 Ω、ピンジャック（L、R） × 2
音声出力（5.1チャンネルサラウンド）	2.0 V（rms）、320 Ω、ピンジャック × 6 2.0 V（rms）、320 Ω、DB-25 × 1

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

オンキヨーサービス網一覧表

オンキヨーサービス網のご案内

万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談ください。

●製品の故障や修理についてのお問い合わせは、下記へどうぞ。

修理をご依頼になる前に、
取扱説明書の「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」をご確認のうえご依頼ください。

北海道地区	
札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区	
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330 〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル1F
茨城・栃木地区	
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308 〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7
群馬・埼玉・新潟地区	
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034　埼玉県大宮市土呂町2-29-2　高安ビル1F
千葉・東京（23区）地区	
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
東京（23区を除く）・山梨地区	
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030　FAX 0426-32-8040 〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地
神奈川地区	
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F
長野・岐阜・静岡・愛知・三重地区	
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番
富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区	
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604 〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号
鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区	
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28
徳島・香川・愛媛・高知地区	
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F
山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区	
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

●カタログのご請求や製品についてのご相談は、カスタマーグループ(TEL 072-831-8111)へどうぞ。

2000年9月現在　　修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

ONKYO®　　オンキヨー株式会社

SN29358031E

DV-S939(J)p63-67_J653　66　00.9.23, 1:43 PM

修理について

◆ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

◆ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

◆ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、オンキヨーサービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

◆ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（DV-S939）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

◆ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

◆ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

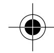
ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

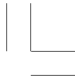
購入年月日： 　　年　　月　　日

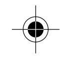
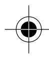
ご購入店名：

Tel.　　(　　)

メモ：



ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN 29342989

Printed in Japan　W0009-1

